令和２年１月31日印刷 令和２年２月１日発行（毎月1回1日発行）昭和32年１月10日第3種郵便物認可 第2甲第9号

2020 2月号
No.786 号

新潟縣人

ひろげよう〝ふるさとの輪〟
東京新潟県人会

題字　諸橋轍次氏

十日町市　「越後妻有雪花火」

「100 年継続する企業をめざして」

誇りと責任を持って安心と快適をお届けします。

二幸産業株式会社

http://www.nikoh-sng.co.jp

■本　　社　〒163-0669　東京都新宿区西新宿 1-25-1　新宿センタービル 36 階
TEL：03-3344-5711（代表）／FAX：03-3344-5986

■支　　社　東京・神奈川・関東・北海道・新潟・東海・関西・九州

■営 業 所　札幌・釧路・旭川・帯広・函館・新潟・長岡・柏崎・上越・糸魚川・苗場・群馬・長野・埼玉・岐阜・名古屋・大阪・神戸・福岡・佐世保

■業務内容　施設運営事業（総合ビルメンテナンス業［設備管理・清掃・警備］・建物修繕・建物包括診断・ホテル客室整備・マンション管理）／プロパティマネジメント事業／介護事業／環境事業

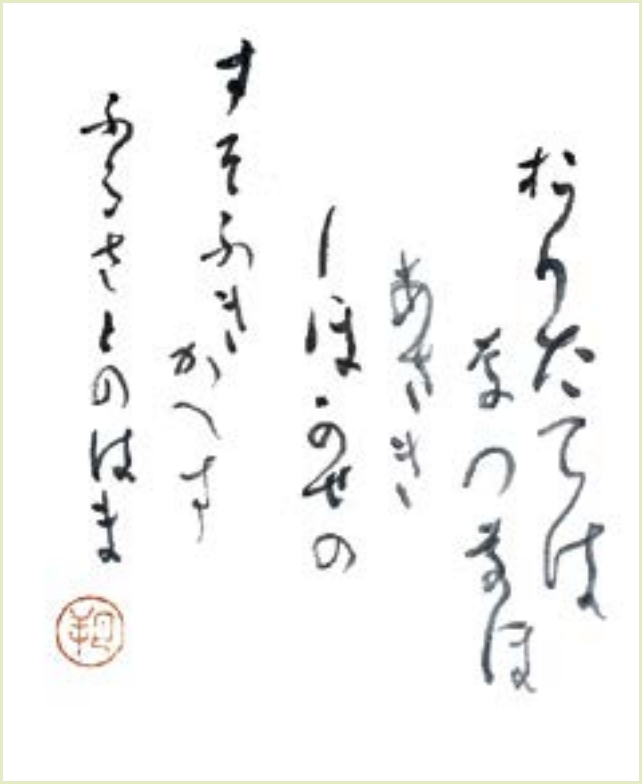
■関連会社　株式会社アセント・富士防災警備株式会社・ニコマックス株式会社・糸魚川二幸株式会社

HOTEL ASCENT

http://hotel-ascent.jp/

■ホテル アセントイン札幌	北海道札幌市白石区東札幌 3 条 2 丁目 1-3	TEL 011-820-2800
■ホテル ハミルトン札幌	北海道札幌市中央区南 1 条西 15 丁目 1-238	TEL 011-632-0080
■ホテル アセント浜松	静岡県浜松市中区砂山町 353-1	TEL 053-454-0330
■ホテル アセントプラザ浜松	静岡県浜松市中区板屋町 2-109	TEL 053-453-2500
■ホテル サウスガーデン浜松	静岡県浜松市中区砂山町 325-30	TEL 053-451-1800
■ホテル アセント福岡	福岡県福岡市中央区天神 3-3-14	TEL 092-711-1300
■ハーバルスパ＆ホテル元気人	新潟県上越市新光町 3-1-1	TEL 025-544-7111
■ホテル フロンティアいわき	福島県いわき市平字大工町 10-6	TEL 0246-25-1117

NIIGATA《名作・至宝》GALLERY



歌・書 会津八一

（資料提供：新潟市会津八一記念館）

会津八一氏（1981 ～ 1956）は、明治14年8月1日、新潟市古町で生まれる。歌人・美術史家・書家。雅号・秋艸道人、渾斎。若き日から良寛や万葉集の歌に親しみ、永く早大文学部芸術学専攻科教授を務め、昭和20年4月、空襲被災後、新潟へ帰る。上掲「於りたては なつなほ あさきしほ可せの すそふき かえす ふるさとのはま」は、戦禍の東京から新潟の飛行場に降り立てば、夏まだ浅い潮風が、着物の裾を吹き返すよ、故郷の浜は、の意。

2月号目次　　表紙写真　提供／十日町市産業観光部（撮影：中村 脩）

我がふるさと・わが母校⑰⑦ **阿賀野市立安田中学校** …… 4
地区県人会・郷人会だより …… 7
随想四季⑰⑦ **村上藩と上野大仏 中村修平**さん … 10
思い出写真館⑰⑦ **樋口高士**さん …… 11
卓話の時間㉚ **柳　政直**さん …… 12
会長さん、今日は⑰⑩ 首都圏佐渡金井会 **池 登志邦**さん … 13
酒蔵めぐり㊿ **白龍酒造** …… 14
芸能大会の報告 …… 16
新会館愛称の選定について …… 19
第３回関係団体交流懇談会 …… 20
市町村だより …… 22
会議・委員会報告 …… 24
会員だより …… 26
県人会館利用状況・貸会議室のご案内 …… 27
ネスパス　イベント情報 …… 28
新潟ゆかりのお店㉜ **カンティーナ シチリアーナ** … 31
越後の奇祭めぐりの旅 ご案内 …… 32
新シリーズ佐渡⑱ **佐渡金銀山に係った奉行たち④** … 33

我がふるさと・わが母校

177回 阿賀野市立安田中学校

校歌

作詞　波多野　伝八郎
作曲　土田　力
作曲監修　加藤　正二

一
みなもと遠く　水清き
阿賀の流れに　恵まれて
沃野ひらけし　わが郷土
古き歴史に　誇りあり

二
あした夕に　仰ぎ見る
菅名宝珠の　雄姿こそ
生きる力の　かがみぞと
学ぶ我等に　希望あり

三
自由と平和　求めつつ
進みてやまぬ　世と共に
真をきわめ　技みがき
楽土築かん　手をとりて
我が師　我が友　心は一つ
永遠に栄えあれ　我等の安田

郷土を愛し、夢に向かって粘り強く挑戦する生徒を育てる

阿賀野市立安田中学校
校長　田澤　充哉

安田中学校は、昭和22年、安田村立安田小学校（現在の安田中学校の場所）に併設され、裏校舎を中学校校舎として同年5月に開校し、平成28年に創立七十周年を迎えました。これまで多くの優れた人材を社会に送り出し、卒業生は1万3千人を数えます。

現在、通常学級7学級、特別支援学級2学級、計9学級、生徒数は221名です。平成29年4月に、学区の三小学校（保田小・赤坂小・山手小）が統合され安田小学校となり、一小一中となりました。

当校では、これからの社会を生き抜くための資質・能力を育むために、確かな学力の向上と社会性の育成を重点に教育活動を推進しています。そのために、学習指導と特別活動を軸に、各教科や諸活動において、生徒同士そして地域の方々を含め生徒が他者と関わる活動やそれを振り返り評価する活動を中心とした取組を進めています。

授業場面では、各教科で学び合い活動を取り入れた授業づくりをしています。市からは昨年度、タブレット端末や電子黒板、ＷｉＦｉ環境などＩＣＴ機器を整備していただきました。それらを効果的に活用し、「主体的・対話的で・深い学び」のある授業の実現を図っています。

特別活動においては、学級や集団での話し合い活動や係活動を通して、自分の考えをもち、他者の考えを受け止めながら活動に取り組むことや、地域の方々を含め、幅広い年齢の他者と関わる活動を通して、自己有用感・自己肯定感を育み、よりよい人間関係づくりを目指すことを力点に取組を進めています。

これからも地域の方々と力を合わせ、郷土を愛し、夢に向かって粘り強く挑戦していける生徒を育てていきます。

沿革

昭和22年　安田中学校開校式挙行
同25年　校旗樹立
同27年　校舎竣工
同29年　体育館竣工、全校舎完成
　　文部省産業教育研究指定校となる
同32年　創立10周年記念式典挙行
同35年　安田町立安田中学校に改称
同37年　新体育館竣工
同43年　創立20周年記念式典挙行
　　鉄筋コンクリート校舎竣工
同53年　創立30周年記念式典挙行
　　県中学校教育研究会学校経営研究発表会開催
同62年　創立40周年記念式典挙行
平成元年　体育館大規模改修工事
同5年　前校舎改築工事竣工
同6年　男子バスケットボール部全国大会連続出場
　　東校舎大規模改修工事
同8年　県中学校教育研究会保健体育研究発表会開催
同9年　創立50年記念式典挙行
同16年　阿賀野市立安田中学校と改称
同19年　創立60周年記念式典挙行
同29年　創立70周年記念式典挙行
同30年　県中学校教育研究会音楽研究発表会開催

校章について

昭和22年学校創立時、生徒から校章の図案を募集し当時2年生の生徒の案が採用されました。安田は昔から新江の「蛍」が近郷で知られていました。安田尋常高等小学校や安田国民学校の時代の校章も3匹の蛍を図案化したもので、当選案もこの伝統的な図案の中心に「中」の文字を入れたもので正三角形の意匠でした。その後、初代米倉校長が「飛躍」を込めて逆三角形とすることを提案し、現在の校章が制定されました。

（創立50周年記念誌より）

教育目標

すすんで学習に取り組む生徒
けじめをつけて生活できる生徒
思いやりのある心豊かな生徒

教育活動

○学び合いによる授業

タブレットや電子黒板等のＩＣＴ機器を効果的に活用しながら、学び合いによる「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して授業改善を重ねています。

音声合成ソフトを活用し安田のＰＲソングを作る音楽の授業

タブレットを活用し考えを比較検討し解決を図る数学の授業

○地元の企業と連携した授業

地域内にある機械部品を開発している企業の皆さんと連携し、技術の「ものづくり」の授業を行いました。重い物を運ぶ台車を、開発を行うプロのアドバイスを得ながら、グループで話し合い、試行錯誤しながら作製していく内容でした。生徒は、積極的に取り組みながら、ものづくりの難しさや協働して課題を解決する楽しさを体感していました。

プロからアドバイスを得ながら製作に取り組む技術の授業

○地域と連携した取組

・安田の未来を語る会

生徒会の役員と地域の関係者（自治会長、民生委員、商工会、同窓会、学校評議員、ＰＴＡ役員の方々）が参加し、

地域の方と共に、安田中そして地域について考える

地域が学校に望むことや学校が地域に貢献できることは何かについて話し合う機会を設定しています。この会での提案を基に、取組を企画、実践しています。

・地域クリーン作戦

生徒会が全校縦割り班で、通学路などを協力し清掃を行うことで、互いの絆を深めようと企画しました。地域の事業所の方々も参加し共同作業を行いました。

縦割りグループでの地域清掃活動

・高齢者宅への訪問ボランティア

安田の未来を語る会で提案された地区内の高齢者だけで暮らすお宅への訪問ボランティアを安田商工会と協力し実施しました。活動を通じて生徒は自己有用感を高めることにつながりました。

地区内のご夫婦の高齢者宅へのボランティア訪問

卒業生から

安田中学校での思い出

安田中学校同窓会長
見尾田　正行
（昭和47年度卒）

阿賀野市安田地区は、新潟県の北東に位置しており、瓦と酪農、農業が昔から盛んでした。安田ヨーグルトは、関東でも人気の商品と聞いております。

創立73年の我が母校、安田中学校は、市街地のほぼ中心に建っております。私が中学生の時代の思い出ですが、昭和45年頃は、1学年6クラスで溢れるほどの生徒がおりました。先生からは名前ではなくあだ名で呼ばれ毎日チョークの飛んでこない日は無いくらい賑やかな毎日でありました。

先生から叱られても決して親には言わないで隠しておりました。それでも直ぐにばれてしまい、親に倍ぐらい怒られたことが昨日のように思い出されます。でも今思うと、とてもほろ苦い、良い思い出となっています。

ここでふるさと自慢を一つ。もう60年を超える伝統ですが、卒業生が42歳になると、男女問わず、安田の八幡宮で厄年の歳祝いの御祓いをしていただき、終了後、担任の先生と一緒に酒を酌み交わす行事が続いております。

関東でご活躍の新潟県人の皆様、皆さんが故郷を忘れぬように、故郷も皆さんの事を決して忘れません。お体を大切に、頑張ってください。

阿賀野川・五頭山・安田だしの風……中学生時代の思い出

首都圏安田会会長
小嶋　東吾
（昭和33年度卒）

私が中学生の頃は、安田村立安田中学校でした。村には小学校が6校あり、卒業し中学生になり、250名ほどの同級生誕生でした。当時私は、砂利道を徒歩で約40分かけ通学しており、冬は降雪で狭い一本道となり、吹雪の時は前が見えず、歩くのが大変でした。そんな厳しい時でも、帰宅し、家族の温かさに救われたものです。

当時、安田村は大自然の中にあると感じておりました。あの頃は、教室の授業もそうですが、先生方のご努力のお陰で、自然に溶け込む課外授業も大変魅力的でした。

五頭登山は、懸命に頑張った後の達成感、それは別格のものでした。頂上に達した時の眺望はまさに圧巻でした。

学校で飼育していた牛のため、あの大日原まで歩き、餌の「葛の葉」を取りに行きました。また、学校の水田で田植えもやりました。3年生になり、夢にまで見た修学旅行です。東京・日光の中禅寺湖等まさに別世界でした。夢が現実となりました。学校での諸行事は、現在の私たちの大きな力となっております。

中学生時代は、今思えばすべてに純粋で、人生の中でも一番素直に輝く時であったと思います。この輝きを心に留めて、前を見てまいりたいと思います。

今年25周年となりますが、阿賀野市安田出身者の会、「首都圏安田会」総会を東京プリンスホテルで開催しました。3年前の総会時、参加者150名で、私たちが中学生の時に作曲された校歌を、全員で合唱しました。

〽みなもと遠く　水清き
　阿賀の流れに　恵まれて…

感動し、大きな勇気を頂きました。我が母校、安田中学校そして校歌は、まさに永遠です。

（文責　田澤　充哉）

令和元年度　東京牧村会総会・懇親会

◎鈴木　勉　会長

10月20日(日)、上野精養軒3階「桜の間」にて、会員、会員の友人、知人、ふるさと及び東京新潟県人会、関係交誼団体の要職の方々等、総勢98名の参加者で第23回の総会・懇親会を開催しました。今年度は大型台風が続けて二度も上陸し想定外の発災となりましたが、当日はよく晴れました。しかし故郷からお出かけの方々は北陸新幹線が不通となり、ほくほく線経由で定刻までに会場に到着され、胸を撫でおろしました。

鈴木会長の挨拶、ご来賓を代表してふるさとから上越市長代理の山岸由美子牧区総合事務所長様、東京新潟県人会会長代理の福原弘副会長様、新潟県議会議員の桜庭節子様のご祝辞を頂きました。その後議事に入り、各報告・決議事項の審議の結果、全員の賛同で承認決定されました。

引き続きアトラクションの紙切りショー、マジックショーが披露され、ひとときは巧みなステージでの動きにクギづけになりました。

変わって、当会の創立及び多大なるご協力を頂いた中川耕平名誉顧問の米寿を祝し、全員の拍手喝采の中で記念品を岡一二名誉会長より贈呈され、ご挨拶を頂きました。

続いてNPO法人牧振興会理事長、梨本正昭様のご発声で開宴となり、例年ご寄贈を賜る中川耕平名誉顧問からの「雪中梅」、中川卓夫氏からのどぶろくが各テーブルに用意され、和気藹々と談笑の続く中、空くじ無しの大抽選会で盛り上がりました。

恒例の会員有志による藝術工芸作品や、上越市立牧小・中学校の活動ポスターの展示会、ふるさと特産品の即売会も好評でありました。

最後に全員で『牧村民歌』『ふるさと』を合唱し、定刻に来年の再会を期して散会となりました。

（折笠　定勝　記）

左から岡名誉会長、
中川名誉顧問、鈴木会長

東京板倉会「第32回総会と懇親の集い」

◎瀧澤　康二　名誉会長　◎清水　忠志　会長

秋色深みゆく11月10日（土）、上野公園不忍池「ホテルパークサイド上野」に於いて、東京板倉会「第32回総会と懇親の集い」が開催されました。

ご来賓東京新潟県人会副会長・佐藤永久様、ふるさと上越ネットワーク会長・伊藤利彦様をお迎えして、総勢23名の盛会となりました。

総会では、名誉会長・会長より開会の言葉と挨拶に始まり、事業報告、会計報告と進み、祝辞は東京新潟県人会副会長・佐藤永久様並びにふるさと上越ネットワーク会長・伊藤利彦様より、意義ある言葉を頂戴しました。

懇親会に移り、ご歓談、アトラクションでは「おけさ会」様が踊りを披露、会員の皆様もご一緒に踊られる。カラオケ大会では得意の十八番、「懐かしの歌声広場」は『青い山脈』、唱歌『ふるさと』、『旧板倉町歌』を全員で合唱し盛り上がる。

東京板倉会は平成の時代と共に歩んで参りましたが、令和の時代を迎え、少子高齢化と近年は首都圏に就職される方も年々減少、社会情勢の変化に合わせ「新たな同郷の方々の交流の場として、気軽に参加していただき、懐かしいふるさとの想い出、気楽な情報交換の場として生かしたい」とご提案、和気あいあいのひと時となりました。

（事務局長　市村　喜幸　記）

全員の記念写真

第三八回東京弥彦村人会　総会・懇親会

◎堀　優　会長

11月10日（日）、お茶の水ホテルジュラクにおいて、第三八回総会・懇親会を開催しました。

総会の後、元日大教授、歯学博士の小林清吾先生に口腔の衛生に関する講話をお願いしました。先生は〝虫歯予防にフッ素が効果あり〟を発見した方で、弥彦小学校の児童に50年前からフッ素による歯磨きを導入し、虫歯罹患率全国最低という成果を達成しました。講話の冒頭、「50年前、これが何故弥彦村でできたのでしょう？　それは、一、子供たちへの愛情　二、賢い科学知識　三、良いことならやってみようという勇気があったからだ」と指摘され、とりわけその勇気に高い評価を与えてくれています。

一村独立の弥彦村は総面積25キロ平方メートルの狭い地域で、8千余名の村民が、農業、工業、商業、観光、教育で全国版の評価を上げています。小林村長は挨拶の中で、現時点でふるさと納税が6億円、昨年度競輪事業で2億5千万円の黒字、観光では弥彦の自然、信仰は弥彦神社で年間の観光客は約２００万人に達し、教育では全国学力テストで県内上位を占める等、他行政に負けない頑張りを紹介してくれました。

政府は地方創生をうたい、寂れゆく地方に何とか活力を見出そうとしていますが、人口減は止まらず、地方から救済を求める声が溢れています。そのような中で、弥彦は何故成果を上げているのでしょうか？

冒頭言及した村民の勇気が現在の弥彦を作り上げてきたと言っても過言ではありません。苦しい時は国に頼めばなんとかしてくれる、大きな行政と合併すれば何とかなるといった甘さが、現在の地方衰退の一因になっているのではないかと思います。

一村独立で失敗は許されないという切羽詰まった状況に置かれたとき、人間は力を発揮するものです。勇気こそ、一地方行政の弥彦だけではない、日本国全体の発展への要諦なのです。細かく見れば弥彦にも改善すべきことは多々あるでしょう。でも、長期にわたり勇気を忘れず努力する弥彦に、最大のエールを送りたいのです。頑張れ弥彦！

（文責　堀　優）

しばた豊浦会「ふるさと訪問の旅」月岡温泉

◎西澤　弘　会長

紅葉がまぶしい晩秋の11月27日～28日、第八回のバス旅行に出かけました。

一日目は春の叙勲で誉に浴された㈱仲代金属・安中茂社長の神山にある新潟工場を訪ね、社長自ら案内をしていただきました。そして、安中社長と共に、私たちのふるさと月岡温泉に向かいました。

宿の「泉慶」では橋本大女将の出迎えを受け、懇親会では、下妻副市長を迎え、おいしい料理を頂きました。席上、新しい法人会員の紹介と、「しばた豊浦会　広報三点セット」が披露され、歓迎一色となりました。

翌日は新発田市庁舎に二階堂馨市長を表敬訪問。席上、当会のハンドブックを手に、「これですべてがわかった」と賞賛を頂き、みな心強く思いました。新発田の最高の米をニューヨークへ輸出しようと帰国したばかりの市長の「温泉と米の豊浦」の力強い言葉で心が和んだ旅となりました。

（広報担当役員　高山　博司）

二階堂新発田市長を囲んで

仲代金属新潟工場にて、左から２人目が安中社長

「泉慶」にて下妻副市長、ふるさとの皆さんと

東京村上市郷友会「三面川の鮭を食べる会」

12月7日（土）、毎年恒例となっている「三面川の鮭を食べる会」が目黒の庄屋４０８店で開催された。

毎年11月になるとテレビなどで良く取り上げられる村上三面川の鮭漁だが、郷友会会員も皆この時期になると今年の鮭の遡上は如何に、と気になるものです。

そして東京での鮭料理を楽しみに多くの会員、そして多くのご来賓など１００名近くの参加者で今回も大いに盛り上がり賑やかな会となった。

地元から駆け付けた高橋邦芳市長の挨拶の中で、今年は皇居へ塩引き鮭の献上に上がったことや、お馬番の中に市長の村上の同級生が働いていたことなどが披露され、雅子妃殿下の事で盛り上がっている故郷の様子が良く伺えた。

いつも幹事が事前に料理長と打ち合わせを行うなど、地元から取り寄せの塩引き鮭、焼き漬け、生鮭からの醤油ハラコ、熱々のなわた汁など用意された各種鮭料理、そして村上自慢の銘酒「〆張鶴」と「大洋盛」に皆さんご満足頂けた様子。

イベントとしては地元協賛品の籤引きと、故郷を思いながら全員の合唱などで楽しい３時間はたちまち経過し、またの再会を約束しての散会となった。

恒例、年二回―年忘れ＆春爛漫

第30回『歌助噺の会』

・日時：令和元年12月3日（火）
・場所：『伊豆栄 本店』（上野2-12）
・主催：東京十日町会

恒例、県人会館寄席『歌助噺の会』。東京十日町会（春日寛・会長 根津万寿夫・事務局長）が、十日町出身の真打噺家・桂歌助師匠を招いて、年二回、春の花見時と、師走の年忘れの時季に、ずっと続けて行ってきている噺の会。今回で丁度第30回目となった。

折柄、県人会館が10月末の完成を目指して新・改築工事のため、今回も、前回に続いて、地元・上野不忍池畔の鰻割烹の老舗『伊豆栄』さんのご好意により、高座を7階の洋間大広間に設定して開催。

午後6時開会。今宵の歌助師匠の演題は『親子酒』。共に大酒飲みの親子。息子が酒で不始末をおかしてはと、親が「俺も断つから、お前も断て」と断酒の誓い。ところが到頭、共に内緒で大酒を飲んでしまった親子のやり取りが、どっと笑いを誘う。

落語一席の後は、定評のある割烹料理と、故郷越後の酒、伊豆栄さんのご好意の酒を堪能。其処かしこで、歓談、交流の輪が広がる。フィナーレは、いつものように、『十日町小唄（サッテモ節）』の踊りの輪が会場いっぱいに広がり、最後は、今年一年の労をお互いにねぎらい、三本締めにて終了。

（広報・樋口）

歌助師匠の『親子酒』の一席

随想四季（リレー第177回）

村上藩と上野大仏

災難引き受けた不屈の仏さま

中村　修平（東京村上市郷友会）

【出会い】

以前、上野の山に行ったとき上野大仏を見たことがあった。ブロンズの大きな仏像の顔のレリーフだった。そのときは面白いものがあると思っただけだった。ところが、偶然、ＪＲ御茶ノ水駅の通路壁に掲示されている上野大仏のポスターを見つけた。合格大仏として人気があるという。

【堀家と上野大仏】

そこで、その大仏を見に行ってみた。像のある小山のふもとに案内板があった。読んで驚いた。この大仏が一六三一年に、村上藩主だった堀直寄が寄進したものだとわかったからである。直寄は外様十万石の大名で、村上忠勝のあとに村上城主となった。城を整備し、村上の城下町としての原型を作った人物として知られている。村上大祭のスタートも直寄の時である。これが縁となり、上野大仏についてもっと調べたくなった。すると、新たな人物が浮上してきた。江戸初期、幕府に大きな影響力を持っていた天台僧、天海大僧正である。天海は将軍秀忠、家光の信任厚く、秀忠は上野のおよそ半分の広大な土地を天海に

『江戸名所図会』（天保期）の寛永寺の頁から（国会図書館蔵）

江戸一番の広大な寛永寺が誕生した。天海は京の名所を寺内に配置したいという念願をもっていたが、将軍家と意見が合わず援助もカットされ資金難だった。上野公園内の清水観音堂は京の清水寺を模して舞台づくりとなっている

現在の上野大仏

寄進した。（一七万坪といわれる）それまではうっそうとした森だったようだ。この地はもともと島津、堀、藤堂の屋敷があったところを秀忠が収公して、天海に与えた。天海はこの地に徳川家の祈祷寺をつくろうと考え、かくして

が、大名の援助でつくられた。

天海と京都でつながりのあった直寄にも白羽の矢が立ち、大仏建立を依頼される。これは、京の東山にあった方広寺の大仏を模して造られた。今、パゴダとお顔のあるあたりに建立した。寛永八年（一六三一）のことである。

【災難続く仏様】

その後、この仏は災難が続く。最初の釈迦如来は粘土づくりでその上を漆喰で固めたもの、上屋はなかった。戦国乱世の犠牲者の供養のための造仏である。しかし、一六年後の正保四年（一六四七）の地震で倒壊する。そして、明暦・万治（一六五五～六〇）の頃、木喰僧の浄雲が唐銅で大仏をつくる。元禄一一年（一六九八）、この像に屋根がつく。享保年間（一七一六～三五）にも被災していて、この時は空無上人が約七ｍの青銅像を作っている。さらに天明期にも難があったが復旧する。そして、天保一二年（一八四一）火災によって仏殿が消失する。今度は、直寄の子孫である越後村松藩主の堀直央（なおひさ）が、大仏を新たに鋳造し、幕府が仏殿を建てた。直寄の長男直次は直寄の一年前に亡く

思い出写真館 177

◎昭和38年（1963年）2月 撮影。私が初めて職に就いた出版社の月刊女性誌『二人自身』編集室にて。この雑誌は、週刊誌『女性自身』の姉妹誌として、既存誌を「改題」して誕生。私は、前年、週刊誌から移動。黒崎勇編集局長（1920～2005）は、後に「伝説の名編集長」といわれた方で、新潟・片貝の出身。微かながら私との姻戚関係もあった大先輩である。

◎翌39年。私は広告業界へ転進のため、この職場を去る。雑誌自体も結局浮上できず短命に終わる。そんなことで、この写真は、私にとっては、ひと際思い出深いものである。撮影は当時の同僚で、後に高名な写真家となった富山治夫（1936～2018）さん。今でも、撮影時の富山さんとの‘掛け合い’が思い起こされる。

樋口 高士（広報委員長）

なっており、幼い孫の直定が家督を継いだが、次男直時は村松に三万石を与えられ安田の城主となる。直定は七歳で没し村上の堀家は絶家となる。村松の堀家は明治まで続き大仏の再建に尽力してきた。安政二年（一八五五）「安政の大地震」で大仏の首が落ちるが堀家が修復する。明治六年、上野公園が構想される中で、建築物の整理があり、仏殿はその時取り払われている。そして、大正一二年（一九二三）、関東大震災でも頭部が落ちる。そこで寛永寺はお顔の部分だけを本寺に移して保管した。第二次大戦中は胴体部分の供出を余儀なくされ、顔の一部だけが残された。寛永寺は大仏再建の青写真もつくっていたが、戦争のために実現しなかった。保管されていたお顔を昭和四七年（一九七二）再び元の場所に戻して、大仏再建のシンボルとして壁面に固定した。

【再建を願う】

今日のレリーフに至る波乱の歴史である。これで、堀氏との関わりや時代の背景も少し見えてきた。創建以来およそ四百年、何度も首が落ちている災難の多い仏様である。

何度も首が落ちたが、もう二度と落ちないという一種のしゃれで、合格大仏として信仰されるようになったという。戦前、吉川霊華画伯による再建のための下絵が描かれ、青写真が残されているという。もう一度、上野大仏の当初の姿を拝めないものか。再建されることを願う。

●上野寛永寺の住職　浦井正明さんの書いた、『上野公園に行こう』（岩波ジュニア新書）『上野寛永寺将軍家の葬儀』を使わせていただいた。『藩史大事典』（雄山閣）も参照した。

第三十回「卓話の時間」

令和元年12月10日

卓話テーマ：「趣味の話」

報告

［卓話者］
柳　政直氏
（東京松代会顧問）

今回は、民謡やスキーなど多彩なご趣味をお持ちの柳さんから、趣味の中でも今は民謡を踊ることが一番だと、「佐渡おけさと私」を中心にお話をお聞きしました。

① おけさとの出会い

私は民謡を歌うことが好きで、師匠について稽古を続けておりましたが、新潟民謡の『佐渡おけさ』の踊りをぜひ踊りたいと新潟県人会のおけさの会に入れてもらい、踊り始めました。それから各地のおけさ踊りに参加し十数年踊ってきました。

私の生活の中におけさは深く入り込んでいます。佐渡相川の「宵の舞」にも出かけて踊りました。全国各地の夏祭りに呼ばれて楽しんでおります。県人会の百周年行事で古町通の民謡流しにも参加しました。

② 民謡『佐渡おけさ』のルーツ

佐渡おけさは、熊本の民謡『牛深ハイヤ節』が元歌で、北前船の船乗り達によって港から港へ伝わり土地の歌に交じって変化したものと言われています。

③ 佐渡金山とおけさ

徳川幕府の所領だった佐渡金山が明治になってから民間に払い下げられたときのお祭りに、金山で働く人達が『選鉱場節』として踊ったのが始まりと言われ、それが村々の盆踊りとして広がった。

④ 村田文三氏とおけさ

大正13年に設立の「立浪会」に所属の村田文三氏が日畜レコードより『佐渡おけさ』を発売し、昭和30年、全国民謡コンクールで優勝、佐渡おけさの素晴らしさを全国に広げた。

⑤ おけさ踊りで全国各地の人達と交流

伊勢神宮や中野サンプラザ、浅草橋などの全国各地の民謡まつりにおけさを踊ることで、全国各地の人たちと交流をしています。

⑥ 伊勢神宮での奉納踊り

交流活動の中でも一番は伊勢神宮の神嘗祭での奉納踊りです。全国の20グループが参加し、お国自慢を披露しています。佐渡おけさのグループも平成20年から参加し佐渡の立浪会の人たちと共に正調佐渡おけさを参拝者に見ていただきました。

⑦ 私の健康の源はおけさ

身体を動かすと気持ちが明るくなり、人生を楽しく過ごせるようになります。

積極的に好きなことを見つけて参加することにより、新しいことや知らない人に出会えるようになります。

踊りの他に、国内のスキー場はもとより、スイスやカナダなど海外のスキー場でスキーを楽しんでいます。また、スキー連盟の会員として若い人にスキーの指導をしています。

今年の夏も、「うえの夏まつりパレード」に新潟県人会の皆さんと百人踊りに参加しました。

こういうことを機会に、来年完成する県人会館を活用し、地域の人たちに「おけさ」を広げることを提案したいと、結ばれた。

「卓話の時間」開催のお知らせ

予告

第33回　2月10日（月）午後3時
坂大 トキエ氏（東京やまと会副会長）
テーマ「昭和・平成～令和　庶民の生活史」
自分史綴りから

第34回　3月10日（火）午後3時
佐藤 俊一氏（東京津川会、下越酒造（株）社長）
テーマ「日本酒の楽しみ方」

第35回　4月14日（火）午後3時
斎藤　實氏（東京村上市郷友会）
テーマ「地域活性化」

第36回　5月12日（火）午後3時
羽賀 正雄氏（東京やまと会）
テーマ「なぜ、スギの葉は細く、ケヤキの葉は広いのか」―針葉樹と広葉樹の違いを解く―

＊会場は県人会仮事務所（大秀ビル２Ｆ）です。
＊申し込みは県人会事務局へ。電話 03-3832-7619
＊参加費用は茶菓代300円です。当日、会場でお支払いください。

会長さん、今日は 170

首都圏佐渡金井会会長　**池　登志邦**さん

●会長ご就任はいつですか。

前会長、祝善久夫さんの後任として、新元号令和元年５月12日総会にて引き継ぎました。

●ご出身地とその思い出をお聞かせください。

旧金井町は佐渡ケ島の「佐渡のへそ」に位置し、ほぼ中央国仲平野で、島国でありながら海岸の無い町です。

北方面（日本海）には佐渡ケ島最高峰の標高１１７２ｍに「神山」と言われる金北山があり、朝、昼、夕方と毎日対面しながら生活している地域です。

思い出として、昭和の時代には、島の男子は７歳になると父親に連れられて金北山に登り、お参りし、シャクナゲを持ち帰り祝う習慣がありました。

ちょうど春の彼岸が過ぎカボカ陽気のころになると、金北山の頂きの真下に、雪融けした岩が、まさに種まき姿をした爺さんの格好で現れます。毎年のことですが、その頃、母が稲の種を塩水に入れ、種まきの準備を始めるのです。

中学生の頃、８月の夏休みになるとテントを持参し、山の中腹から新潟市の川開きの花火を見に登っていました。

上／加茂湖から望む金北山（右端が山頂）
右／旧金井町は佐渡の中心に位置している

●上京されてからはどのような生活でしたか。

18歳で上京し65歳まで鉄鋼関係の企業に在籍していましたが、好景気に影響ある環境で厳しい経験を致しました。

退職後、杉並区の「ＮＰＯ法人すぎなみ環境ネットワーク」に勤務しています。

環境に関する様々な講座や講演会の開催、区立小中学校等への環境学習支援などを杉並区より受託し、さらに、家具や衣類、雑貨のリユースによるごみ減量や、みどりに親しむ活動などを展開しています。まさに現在、地球温暖化という課題を身近に感じています。

●ご趣味について教えてください。

登山、マラソン、バトミントンです。

登山は、佐渡ヶ島の山を四季折々登っていたことから、18歳で上京する時、父親が「本土には危険な山々があるから」と、登山道具一式を跡継ぎである長男の私に預けてくれた記憶があります。

●お好きな言葉はありますか。

「一期一会」です。人との出会いを大事にし、これからの人生を親しみたいと思います。

●今後の首都圏佐渡金井会についてお聞かせください。

昭和29年、佐渡郡旧金沢村と旧吉井村西部部落との合併により金井村になり（同35年町制施行）、昭和54年、首都圏佐渡金井会を発足致しました。

今後、佐渡ヶ島出身者として、会員の皆さんと郷土の伝統、文化、習慣に誇りと愛着を持ち続ける郷土会にしたいと思っています。

（広報委員　山田　セイ子）

酒どころ新潟

酒蔵めぐり 50

白龍酒造株式会社

代表取締役社長　白井 秀利
新潟県阿賀野市岡山町3-7
電話:0250-62-2222
FAX:0250-62-2942

回船問屋から分家しての創業

雪つもる酒蔵前の通り

白鳥が訪れる瓢湖まで１キロ弱

五頭山より越後平野を見晴らす

白龍酒造の創業は江戸時代の１８３９年（天保10年）。本家は北前船で賑わう湊町新潟で北海道と交易する回船問屋で、分家して、北海道で必要としている新潟からの主要物産である酒を製造する酒造業を開業した。

海の神様をあらわす〝龍〟の文字を入れ、この地での繁栄を祈って「白龍酒造」と名づけた。以来１８０余年にわたり日本酒を造り続けており、現社長で六代目になる。

同社が立地する旧水原町は、江戸時代は幕府の天領として代官所が置かれ（P23「市町村だより」参照）、明治維新後は水原県として県庁が置かれた、歴史と伝統の町である。

遠くに飯豊連峰を望み、阿賀水系に連なる福島潟の水郷地帯に位置する豊かな水の恩恵を、酒造りに最適な「酒米」として受けてきた。

酒造りの基本、「米」

酒米は新潟を代表する酒造好適米「五百万石」と「越淡麗」を中心に酒造りを行っている。

同社の酒米は、旧水原町地区の農家とＪＡ北蒲みなみが設立した「酒米協議会」のメンバーで栽培している。毎年、酒造元と農家、ＪＡの三者で協議を重ね、酒米の品質向上を図っており、より高い品質を求めて活動を続けている。

蔵と同じ風土で育まれた米で醸す「白龍」の酒には、米どころ阿賀野市の魅力と生産者の誇りが存分に詰まっているのだ。

よい酒造りのポイントは一に麹、二に麹

酒と語る

寒仕込みが盛りとなる厳冬、朝日を浴びた雪稜を白鳥が舞うこの地で、蔵もすっぽりと深い雪に覆われる。雪は蔵を酒造りに適した温度にするとともに、その温度を一定に保つ。春には雪解け水となり、再び大地を潤す。こうした風土に恵まれた蔵の中で、白龍の酒が息づいている。

そこには我が子を見守るような越後杜氏の、厳しい目が注がれている。

真っ白に磨かれた米が、静かな蔵の中で音をさせて醗酵していく様に、蔵人は「酒は生きている」という実感を強くする。酒を醸すことは、もの言わぬ生きものと対話すること。だからこそ、日々真摯にその技を磨くことで、酒の奥ふところを探り、未来への可能性を見いだしたいと思うのである。

うまい酒を目指して

穀倉地帯・越後平野で育まれた酒米、清冽で豊かな水量を誇る阿賀野川水系の仕込水、そして長年の経験から培われてきた蔵人たちの卓越した技術。

うまい日本酒造りにとって、素晴らしい環境と、１８０年余りにわたって継承されてきた酒造りの技術、これらによってお酒は造られている。

先人達の築きあげてきた伝統を守りつつ、現代の新しいことにも挑戦し、熱意ある蔵人たちとともに「皆様に愛される飲み飽きしない美酒」を求めて日々の研鑽に努めている。

世界で認められた白龍

「品質第一」に醸し続けてきた同社は、国内のみならず海外でもその品質が認められている。１９９０年代に出品を始めたベルギーのブリュッセルに本部を置く品質評価機関「モンドセレクション」で、「白龍の酒」は１９９４年以来、26年連続金賞を受賞し続けている。２０１７年には、25年連続受賞した企業に贈られる「プレステージ・トロフィー」を獲得し海外で飛躍するきっかけとなった。

地産地消から飛躍へ

地元で飲んでいただくお酒の消費量には限度がある。同社では発展を目指して、県内から関東地方へと進出している。海外への輸出も増えているが、国内各地の知名度も上がってきた。

尚、取材にあたっては東京新潟県人会会員企業『ニール』の高橋真理子さんからご紹介をいただいた。

（広報担当副会長　鈴木　輝雄）

受賞歴（平成以降）

●全国新酒鑑評会
【優秀賞】 平成３、５、12、17、20、26年

●関東信越国税局鑑評会
【優秀賞】 平成元年、２、３、４、10、12、16、17、18、19、20、22、24、29年

●モンドセレクション
【金賞】 １９９４年以降、26年連続受賞
【最高金賞】 １９９７年以降、17回受賞

【国際優秀品質賞】 21回
【プレステージ・トロフィー25周年記念トロフィー授与】 ２０１７年

「大吟醸 白龍」は１９９７年、**「純米大吟醸 白龍」**は２００２年、**「特撰大吟醸 笹屋茂左衛門」**は１９９９年以降15回、金賞を受賞した製品の中でも特に品質が優れていると認められた製品だけに授与される最高の賞「最高金賞」を受賞しています。

白龍酒造の銘酒リスト

○特撰大吟醸 笹屋茂左衛門
白龍酒造最高峰の大吟醸。

1800ml
720ml
180ml

○大吟醸 白龍
世界に認められた味と品質。

1800ml
720ml
180ml

○純米大吟醸 白龍

1800ml
720ml
180ml

○契約栽培米五百万石吟醸 白龍
阿賀野市「ＪＡ北蒲みなみ」傘下の農家と研究を重ねて栽培した酒造好適米「五百万石」を高精白。

1800ml　720ml
300m　180ml

○契約栽培米純米吟醸 白龍
第77回関東信越国税局酒類鑑評会「燗審査の部」優秀賞受賞。

1800ml　720ml
300m　180ml

○他に純米**「越後杜氏」**、特別純米酒**「越後府」**、本醸造酒、生酒、季節限定品など。

第12回芸能大会の報告

2019年11月23日（土・祝）

会場／東天紅上野本店　バンケットホール「鳳凰」

報告／チーム広報（田辺・山田・清水）

10月12日の台風で順延となった第十二回芸能大会が、翌月23日、上野東天紅「鳳凰の間」で行われた。

それにしても、仕切り直しの当日も、午前中は雨が激しく降る中、大勢の参加者が来られたのは、関係者にとって望外の喜びであった。

午前10時20分、山崎ヤス実行委員長の開会挨拶、次いで名誉会長の平辰様の挨拶、ご来賓の表参道・新潟館ネスパス館長の大平一茂様の祝辞へと続いた。午前10時30分、いよいよ第一部の舞台の幕が切って落とされた。

第一部　午前の部

オープニングは昨年同様、歌声クラブの皆さんと18あるテーブルに着席した来場者全員が参加しての合唱『紅葉』から始まった。

「♪秋の夕日に照山紅葉　濃いも薄いも　数ある中で♪」と元気な明るい声が響いた。次いで歌声クラブの皆さんが『村まつり』『丘を越えて』の2曲を歌った。

演目は37、唄と踊りを織り交ぜて、順調にステージは進んで行った。

片桐謙一さん（長岡工業高校同窓会東京支部）の『かっぽれ』は、黄色の足袋が軽やかに舞台を跳ねた。

長岡工業高校同窓会東京支部の皆さんは、ラグビー日本代表の「ワンチーム」よろしく、多彩な出演者の日頃精進の芸と応援者の一体感あふれる掛け声で、ステージは最高潮に達した。

いろいろな歌・唄・詩があるものだ。人生の悲しみや苦しみの中にある、少なくても愛おしい生活の喜び。女ごこ

ろや男ごころを切々と語っていたり。

母上が松代会会員のジャズ歌手、今井あさ美さんは、ちあきなおみメロディーを声量豊かに2曲歌われた。「春日ダンシングチーム」は、杉山範子さんが、『十日町小唄』の踊りの所作を分かり易く解説された。一晩に三尺の雪が積もる地方ならではの情感を、指先の繊細な動きで表現し伝えられた。

佐藤東平さんの歌に合わせて、東京広神会の皆さんが白いハンカチを振って応援していた。

午前の部の最後に、佐藤永久副会長から会館新設募金の協力へのお礼とご案内が行われた。

第二部　午後の部

午後の部は、食事と歓談から始まり、一気に会場内が賑やかになる。お酒が入るとついつい舞台から目が離れてしまう人がいるのもご愛嬌だ。

故郷土産コーナーでは、笹団子や粽（ちまき）、柿の種、油揚げ、黒舞茸やなめこ、椎茸やしめじなど、ふるさとの懐かしい味覚が勢ぞろい、早々に完売していた。家に帰りふるさとの味に思いを馳せて故郷を想うも良し。久しぶりに電話するも良し。

若波会の『佐渡おけさ』と『相川音頭』はしなやかで優美。

東京おけさ会の『相川音頭・源平軍談の義経弓流し』は、腰に小刀を下げて凛々しく寡黙な男舞。それぞれが独特で魅力的だ。

新潟県人会には、おけさクラブ、ダンスクラブ、歌声クラブが、月1回の練習を積み重ねている。

ダンスクラブは『チャチャチャ・恋は水色』と『ワルツ・魅惑のワルツ』を、紳士淑女のメンバーたちが華麗に踊ってくれた。

いつも達筆な演題をご用意くださる伊藤章二さん（東京松之山会）は『幸せはすぐそこに』を歌い、長台詞も聞かせてくださった。

小林会長が所属する東京糸魚川会からは、岩崎スミノさんが『初恋の詩集』を明るく歌い、後ろには横一列に並んだ仲良し応援団が紙で作った黄色い花をつけた手を振っていた。皆さんの顔は笑顔に満ちあふれていた。

小トリの岡一二さん（東京牧村会）89歳は『岸壁の母』を熱唱、大トリの横野寅夫さん（東京新潟下越連合）92歳は『兄弟仁義』を熱唱。お二方ともかくしゃくとしてダンディで、一本芯の通った立ち姿に皆がうっとり見入り、拍手喝采となった。

☆フィナーレは『佐渡おけさ』。恒例の輪踊り。来場者も会場いっぱいひろがって踊り、大きな輪ができた。

廣川高志副会長の閉会挨拶で幕を閉じた。

●舞台の袖から

歌や踊りには、人を元気にさせる不思議な力がある。特に、この「新潟県人会芸能大会」は、故郷愛にあふれている。演目は演歌であれ叙情歌やジャズであれ、人の心を揺り動かす何かがある。踊りには、おけさ、甚句、音頭と、旋律は生活感に溢れて悲しくも逞しい。そしてそれは家族や故郷を基本に成り立っている。

演目の中でも、恒例となっている『佐渡おけさ』は、筆者も50年以上前、中学3年の3学期の体育の時間は、毎回画用紙で紙の笠を作り、それに顎ひもを付けて繰り返し練習したものだ。その時、担任の先生は、中学を卒業して都会に出て就職しても困らないように、故郷の伝統芸を覚えるよう、と話された記憶がある。

それ故、フィナーレの『佐渡おけさ輪踊り』は、今なお色濃く引き継がれている大切な伝統芸能のようにに思えてならない。

その伝統芸能を今でも民友会の尾田喜作さんは、「たとえ会が自分一人になろうとも後世に伝え続けなければならない」と、ひそかな闘志を燃やし続けている。

ご出演者の方々すべてをご紹介したいのですが、書き手陣の拙さをお許し下さい。プログラム進行に沿った会場風景や、ご出演者の晴れ姿は、東京新潟県人会ホームページに詳しく掲載してありますので、そちらを併せてご覧いただけますようお願い致します。

ご出演される多くの方は、この芸能大会のために、一年に一度の晴れ姿を、愛する家族や友のために捧げるべく日々研鑽されている。そんな思いを、芸能大会主催者も、応援のために駆け付ける参加者も、忘れずにいつまでも大切にしていきたいものである。

（広報委員　田辺　幸雄
山田　セイ子
清水　裕美子）

「新東京新潟県人会館」愛称の選定について

一般財団法人東京新潟県人会館

新会館の愛称につきまして皆様から公募しました結果、左記のような名前が集まりました。

つきましては、この中から新会館に最もふさわしい愛称を選んでいただきたいと存じます。

一、愛称について14件の中から一案を選びご連絡ください。

二、連絡は、はがき・ファックス・メール・電話にて。

三、氏名・所属等を明記してください。

四、愛称選考委員会（仮称）で応募数の一番多い案を参考に審議の上決めさせていただきます。

五、宛先　〒110-0015　東京都台東区上野1-15-10
大秀ビル2階
電話：03-3832-7619
ファクス：03-3832-7639

六、応募締め切り　令和2年3月末

新東京新潟県人会館　愛称公募結果

愛称名	応募理由等
1　東京新潟いなほ館	—
2　東京新潟協同会館	—
3　初心会館（しょしんかいかん）	—
4　トキア	県鳥である「朱鷺」と are をかけました。固い名前や覚えにくい名前は避けて、現代風の覚えやすく、言いやすいネーミングにしました。
5　みんなのふるさと館	新潟県人でない方も寄付をしておられました。ありきたりのようですが、令和の時代らしく、心の大きなところを愛称にも！　素敵なロゴデザインにしてくださいね。
6　令和ふるさと館	新時代に故郷を持つすべての方々に安価でご利用いただくにふさわしい会館の愛称・呼称に！
7　①こあえっさ ②こあえっさ館	こあえっさの「こあ」は英語の core で「中心、芯」の意味。小さな「あ」は粟島のあ、「えっ」は越後（上、中、下越）のえつ、「さ」は佐渡のさの意味。人々や情報が多く集まり情報発信の中心でありたいと思う。
8　ふるさと館	単純でいい！
9　にいがたふるさと情報館	新潟県の情報発信基地としての役割を担う。
10　ふるさと未来館	新しいふるさとづくりを目指し、県人会館が素晴らしい機能を発揮されますよう心からお祈り申し上げます。
11　ふるさと新潟館	やはり「新潟」の文字は入れたい。通りすがりの人にも「あっ、新潟の会館がある」とわかるように！
12　東京・新潟ふるさと会館	この愛称は、過去の歴史ならびに新しい時代・未来に向かって。堅苦しくない、そしてどなたにも親しみの沸くことを考慮いたしました。
13　ふるさとふれあい館	令和の時代にふさわしい優しいネーミングがいい
14　ふれあいふるさと館	

第３回 東京新潟県人会[関係団体]交流懇談会

◎発表団体◎

・新潟県立阿賀黎明（津川）高等学校同窓会関東支部
・東京白根会　　・えちご妙高会　　・関東畑野会

日時：令和元年 12 月 6 日（金）
場所：東京新潟県人会館(仮) 会議室

発表する及川東京白根会会長

活発な意見交換

熱心に発表を聴く参会者

郷人会、地区県人会、高校同窓会の実際の活動実態の報告と活発な意見交換

◎東京新潟県人会［関係団体］交流懇談会は、県人会の団体会員である地区県人会、郷人会、首都圏の高校同窓会支部の実際の活動実態を知り、新潟県人会の活動に役立てよう、という趣旨で始めた試み。今回が、第３回目。

◎県人会組織委員会（曾山孝一、多田治夫担当副会長、遠藤哲夫委員長）が中心となり六委員会の協力も得て実行委員会を立ち上げ、入念な準備のもと、12月6日（金）、東京新潟県人会館（仮）会議室で開催。参加者はご来賓の波田野孝氏（新潟県東京事務所所長代理）、大平一茂氏（ネスパス館長）を含めて74名。

◎今回の発表団体は、

・新潟県立阿賀黎明(津川)高等学校同窓会関東支部　・東京白根会
・えちご妙高会　・関東畑野会

以上の４団体。

◎各団体の発表後は、約1時間にわたり、活発な意見交換が行われた。また、第一部発表会後は、第二部懇談会が設定され、歓談とともに、さらに意見交換も盛んに行われていた。

東京新潟県人会［関係団体］交流懇談会 実行委員会

・実行委員長　県人会副会長　曽山孝一
・実行副委員長　県人会副会長 多田治夫　若井謙一　細井ミツ子
・執行役員　県人会副会長　廣川高志　佐藤永久　山本ミチ子　福原　弘　鈴木輝雄　山崎ヤス
・実行委員　組織委員会委員長　遠藤哲夫　　副委員長　小林周平　山崎和子
組織委員会委員　　柴山十八　村山富雄　杉山範子　宮内　富　鏡　　實
坂田純一　大橋淑宏
及川恒夫（総務委員長）　根津万寿夫（財務委員長）　樋口　昭（文化委員長）
長谷川文子（女性委員長）　樋口高士（広報委員長）　榊　勝彦（広報委員）

新潟県立阿賀黎明（津川）高等学校同窓会関東支部

発表者：赤城三男 会長

◎当会の沿革

・１９６２年 新潟県立津川高等学校同窓会関東支部設立

・１９７４年 支部会報『ゆきつばき』発刊

・１９９２年 30周年記念事業として『笠原靭画集』発刊

・２００２年 母校が阿賀黎明高等学校と改称されたため、阿賀黎明高等学校同窓会関東支部と改称

・２０１１年 創立50周年を迎えたが東日本大震災のため２０１２年に記念行事を開催

◎現在の活動

毎年7月上旬に総会・懇親会を開催。

会報『ゆきつばき』発刊

同窓会支部設立の13年後の昭和49年（１９７４）の第1号以来発刊。（会費２０００円×100を主として発刊原資として）

◎課題

会員の高齢化に伴い出席者は減少傾向にあり、若い世代に広がらない。同期会との同時開催を検討。

東京白根会

発表者：及川恒夫 会長

◎東京白根会は、首都圏在住の旧白根市（現・新潟市南区）並びに、近隣地区出身者を中心とした方々を会員とし、会員と関係の深い縁故者、ふるさと新潟からの参加も受け入れている。

◎当会の発足は、昭和39年（１９６４）。会員相互の親睦、情報交換と故郷の文化発展に寄与することを目的とする。

◎主な活動としては――

①総会・懇親会 毎年2月第2土曜日。

②郷土訪問 毎年６月、大凧合戦観戦ツアーの実施

③東京新潟県人会その他の友好団体との交流、親睦

④会報『東京白根会だより』の発行

◎「会報」紹介

・「２０１９年2月13日」発行号

第56回東京白根会総会開催 特集

・2・9（土）御茶ノ水ホテルジュラク

・ご祝辞 ・総会決議 ・懇親会

・記念講演（「白根会の55年を振り返って」山口和雄 相談役）

・来年の総会の決議・告知

（２０２０年5月9日（土））

事務局 電話：03-3908-8273

えちご妙高会

発表者：西脇与作 永世会長

豊田 寛 会長

◎えちご妙高会は、２００５年に妙高市が、新井市、妙高高原町、妙高村の合併により誕生したのに伴い、幾つかの郷人会を統合して誕生。現在の会員数は８５０名。

◎年会費はなく、年1回、ホテルを会場に総会、懇親会（会費1万円）。出席者、約１００人。その他の活動は、

・春秋の妙高市での自然観察会。

・ＮＰＯ法人・e-myoko の自然保護活動 等。

・ＳＮＳの活用

◎郷人会の活動には2種類ある。

「享楽 pleasure」と「奉仕 service」

当会でいえば「総会・懇親会」と「環境保全活動＋ＳＮＳ利用」。

◎（提言）一つの糸口としては、複数の郷人会の協力、連携。つまり、複数の郷人会が共同して一つの活動をすること。ＳＮＳの積極的な活用。新県人会館にはパソコン、プロジェクターなどが整備され、郷人会が、ＳＮＳを利用した作業をできる場になれば。

関東畑野会

発表者：元田利夫会長

和泉謙一（事務局）

◎当会は、昭和58年3月6日、関東・東京・佐渡畑野町会として発足。毎年6月第1土曜日に総会・懇親会を実施している。会員出席者85～105名。来賓を含めて100～120名。

◎出席勧誘策

①芸能余興の充実 郷土芸能・鬼太鼓 LIVE

②勧誘のお便りの充実

③会員の絞り込み（次回も勧誘を必要とするか・返信アンケート）

④会員拡大（高校同窓の紹介依頼）

⑤過去出席者への電話勧誘（延80件程度）

◎（提案）県人会で、若手を集めて、郷土を感じながら、ビジネス機会を獲得できるような「異業種交流会」のようなイベントを開催して、若・壮年層を引き付けるような努力をお願いしたい。

◎壮年期の部長・課長等による「ビジネス・スキル」開発経験談や、パネルディスカッションを1時間程度行い、引き続き立食懇談を行うといった工夫があるとよいと思う。

（広報・樋口）

だより

佐渡

まっさき冬の陣

毎年2月の第2日曜日に開かれる冬の風物詩。目玉は珍しい「鱈の刺身」です。松ケ崎地区では昔から食べ継がれてきたもので、地元漁師が船を出し、釣れたそばからさばいてくれる鱈の味は格別です。その他、鱈汁の無料サービス、足湯、鶏炙りそばなどお楽しみが盛り沢山。伝統芸能も披露されます。

楽しく交流できる地域の祭り

日　時：2月9日(日)　10時～14時
場　所：多田漁港
問合せ：松夢会事務局・佐藤
電　話：090-5503-0656

「佐渡体験パック」受付中

（一社）佐渡観光交流機構では、往復のカーフェリー代と島内でのイベントを組み合わせたお得な体験パックを販売中。3月末までは佐渡八十八ヶ所霊場を巡礼する法話付きのパックです。両津港近くの安照寺で法話を聴き、各自で巡礼をします。佐渡遍路用の「納経帳」と「ガイドブック」も付いています。

安照寺には佐渡霊場始まりの記念碑が

期　間：～3月31日(火)
申　込：（一社）佐渡観光交流機構サイトからクレジットカード決済
料　金：大人6,500円
問合せ：（一社）佐渡観光交流機構
電　話：0259-27-5000
（広報委員　山田　セイ子）

上越

灯の回廊

上越市各区の沿道や雪原にキャンドルの灯りがともる一夜限りのイベントです。各地域で子どもからお年寄りまで、住民総出で一つひとつのキャンドルに想いを込めて作り上げています。また、各地で大小の雪像が作られ、茶屋なども設置されます。キャンドルの灯とその柔らかなあかりが演出する温かな雪の世界をお楽しみください。

自然王国ほその村

日　時：2月22日(土)　17時～21時
会　場：上越市安塚区、大島区、浦川原区、牧区、岩の原葡萄園、高士地区多目的研修センター、名立区不動地域
問合せ：上越市　観光交流推進課
電　話：025-526-5111

レルヒ祭

日本に初めてスキー術を伝えたレルヒ少佐の遺徳を顕彰するイベント。少佐が伝えた「一本杖スキー」の披露、冬の夜空を彩る「ミュージックスターマイン」などが行われるほか、上越ならではのグルメやレルヒ少佐ゆかりの地「オーストリア」の郷土料理が味わえる屋台村も登場します。

一本杖スキー（第2回）

日　時：2月1日(土)12時～19時半
　　2日(日)9時20分～15時
会　場：上越市金谷山スキー場、本町商店街ほか
問合せ：(公社)上越観光コンベンション協会
電　話：025-543-2777
（広報委員　石黒　繁子）

中越

大地の芸術祭の里 越後妻有2020冬 SNOWART

2月15㈯、16㈰、22㈯、23㈰㊗、24㊗、29日㈯、3月1日㈰

第4回目となる今回は「第71回十日町雪まつり」と連携して実施。真っ白な雪のキャンパスを舞台に、「見て、食べて、感じる」SNOWART体験ができる、楽しい祭典。

2018年の雪花火（本号・表紙で紹介）

◆越後妻有 雪花火2020
Gift for Frozen Village 2020
・2月29日㈯
・あてま高原リゾートベルナティオ
・料金　一般 3、000円
　小中 1、000円
※会場までは無料シャトルバスを運行

真っ白な雪原には「光の花束」が広がり、夜空には、最大三尺玉の花火が花開く。

雪とアートと雪見御膳を満喫 雪花火鑑賞

◎1泊2日バスツアー◎
・2月29日㈯～3月1日㈰
・出発、解散は越後湯沢
・料金 一般
　3万2、500円～
　5万5、000円
　小学生
　2万8、000円～
　4万1、500円

◆雪遊び博覧会
キナーレ会場
・1月18日㈯～3月22日㈰
・料金 800円
まつだい農舞台会場
・2月15㈯、16㈰、22㈯、23㈰㊗、24㊗、29日㈯、3月1日㈰
・料金500円
◆第71回十日町雪まつり
大地の芸術祭のアーティスト
磯崎道佳氏「マキオ巨人と雪上散歩」
・展示期間 2月14㊎～16㈰
鬼太鼓座パフォーマンス
雪上ステージライブ
・2月15㈯ 16：00～20：00
・場所 コミュニティ広場
・料金 無料
問合せ：大地の芸術祭の里 総合案内所
電　話：025-761-7767
（広報・樋口）

下越

水原代官所

1746年（延享3年）に幕府直轄領として水原城館跡に代官所が設置され、初代代官として内藤十右衛門が着任。支配地は阿賀野市をはじめ、新潟市北区・新発田市・胎内市・聖籠町・岩船郡の一部など複雑に分布し、支配高は6万～10万石に及びました。代官所の主な機能は年貢の徴収や民政ですが、特に水原代官所の場合はこの地方の豊かな生産力を背景に年貢収納を確保することや福島潟の開発、および新発田藩・村上藩の監視が主な目的でした。

水原代官所
写真提供：阿賀野市役所商工観光課

戊辰戦争で会津藩預かりとなり、その後西軍の侵攻により会津藩が退散したことによって1868年7月に代官所は123年の幕を閉じました。平成7年8月25日に復元。

場　所：阿賀野市外城町
問合先：阿賀野市商工観光課
電　話：0250-62-2510

周防杉

長橋集落の羽黒神社境内に立つ御神木です。高さ35m、幹周6・9mあります。平安時代、越後に進軍してきた黒鳥兵衛と羽生田周防守が合戦。周防守は討たれ、妻は夫の首を奪い返してこの地に逃れます。その首を村人が神社境内の八幡社に納めたという伝説があり、これが名前の由来となっています。

周防杉
昭和51年2月市指定天然記念物
写真提供：五泉市生涯学習課

場　所：五泉市長橋乙八〇〇
問合先：五泉市教育委員会生涯学習課
電　話：0250-42-5195
（広報委員　田辺　幸雄　旧東蒲原郡鹿瀬町出身）

会議・委員会報告

財団理事会（12月期定例）

・令和元年12月24日（火）
午後5時～6時40分

・議事の経過及び結果
事務局が開会を宣し、議長に春日副理事長を選任。議案審議に入る。

一、令和元年11月期定例理事会議事録確認

・11月期定例理事会（11／26）議事録について事務局から説明を行った。

二、令和元年12月期評議委員会議事録確認

・12月4日に実施した評議委員会議事録について、資料に基づき事務局から説明を行った。

三、令和元年12月期収支報告について

・事務局から、資料に基づき、令和元年12月期収支報告について説明を行った。

四、第21回作品展収支報告について

・事務局から資料に基づき説明をした。特に作品展については、文化講演会、老人ホーム訪問と共に財団の文化芸術教養活動の主要行事であり、県人会の協賛の下に、文化委員会が主となり実施していること。又、今回の作品展の支出は、予算内であることを確認した。

五、新会館状況について

a．新築工事全体概略工程表（案）
事務局から資料に基づき説明をした。なお、春日議長から現状、旧杭の引き抜き作業で、1ヵ月以上工程が延びているが、2月末にならないと引き渡しまでの工程が分からないとの説明がなされた。

b．募金委員会議事録確認
11月21日に開催した「会館新築事業募金委員会」議事録について、資料に基づき事務局から説明した。鈴木業務執行理事から、杭が出たら設計変更する一文について、再確認するよう要望が出され、1月中に加賀田組から説明してもらうよう調整することを確認。

c．日本ユースホステル協会について
12月6日に実施したユースホステルとの会合状況について、資料に基づき春日議長から説明がなされ、今後の方針について確認した。

d．サンフロンティア不動産について
サンフロンティアの現状について資料に基づき事務局から説明がなされた。なお、入居店舗等の募集は年明けからであるが、今後の方針について確認した。

・賃貸費開始時期について2～3ヵ月はかかることから、免除期間や共益費について相談していく。

・1F、地下1Fの内装等の仕上げについて、どちらが、どこまで負担するか相談していく。

e．新会館愛称募集状況について
現状の応募数14件について、事務局から資料に基づき説明し、今後の方針について以下のように実施していくことを確認、了承された。

・12月末までに応募された「愛称」について『会報誌』2月号に掲載し、読者投票を3月末まで実施する。

・4月以降に「新会館愛称選考委員会」を開催、その後の理事会に答申し、決定していくこととする。

・決定された愛称について、ソフト委員会にて、屋外壁面看板案を決定し、理事会承認後、発注することとする。

f．新会館建設の課題について
事務局が資料に基づき説明した。

六、その他

・新築工事が延びた場合の仮事務所の扱いについて確認しておくこととした。

正・副会長会（12月期定例）

・令和元年12月3日（火）
午後3時～4時30分

・議事の経過及び結果

一、3ヵ月予定について

・広告部会、組織委員会の日程。訂正のうえ、了承。

二、11月定例会議議事録について

・確認の上、了承された。

三、10月予算実行状況について

・収入について、特別会計は通常収入欄に載せないで欲しいという要望があった。

・事務局人件費と広告料収入の現況報告が、事務局からあった。

四、第12回芸能大会について

・台風の影響で延期されていたが、11月23日（土）に、無事盛況裡で終了したことが、山崎ヤス実行委員長から報告された。

・決算等は次回報告することが確認された。

五、第三回東京新潟県人会関係団体交流懇談会について

・実行委員会名簿の報告がなされ、曽山実行委員長より、会次第の説明があった。

六、会長改選に関わる推薦委員会について

・副会長3名、常務理事・理事7名、地区県人会2名、郷人会3名の構成で推薦委員の人数配分をすることを確認。副会長は、廣川、細井、若井

の3名。監事・常務理事から及川監事、遠藤、野村、尾田各常務理事、理事から東條、高間各理事。他は廣川筆頭副会長一任とすることを確認。

七、その他

・新年祝賀会に小林幸子さんが参加することが、廣川副会長より報告された。

・立川新潟県人会創立80周年記念式典に関してのお願い

講演者を新潟県東京事務所に依頼。

アトラクションをおけさクラブに打診することとした。

・新潟開港150周年記念フォーラム開催について

来場の依頼があったことが、事務局より報告された。

常務理事会（12月期定例）

・令和元年12月月3日（火）

午後4時30分～6時

・議事に入る前に、新年祝賀会 ふるさと物産展出展ブースの位置決定の抽選会が行われた

一、3ヵ月予定

・広告部会、組織委員会。訂正、了承。

・財団・理事会、評議員会は、括弧付きで入れることを確認。

二、11月定例会議の議事録について

・確認のうえ、了承。

三、10月予算執行状況について

・事務局人件費と広告料収入の現在の状況報告が事務局よりあった。事務局資料について、プライバシー情報を公開する必要はないとの意見があった。

人件費は、固有名詞を使用せず、総合計を明記して報告することとした。

四、第12回芸能大会について

・来年の出演者の参加資格等検討して欲しいと意見が出された。

五、関係団体交流懇談会について

・実行委員長より会次第の説明。

六、会長改選に関わる推薦委員会

・正・副会長会での決定事項の報告があった。

七、その他

・常務理事の推薦のお願い

次回、書面で回すことを確認。

総務委員会（12月期定例）

・令和元年12月10日（火）

午後3時～5時

一、「第31回 卓話の時間」開催

・卓話者：柳　政直氏（東京松代会顧問）

・卓話テーマ：「趣味の話」

・卓話内容：今回は、民謡やスキーなどの多才なご趣味をお持ちの柳さんから「『佐渡おけさ』と私」を主題にお話を伺いました。

民謡を歌うことが好きで師匠について稽古を続けていましたが、新潟民謡の『佐渡おけさ』をぜひ踊りたいと思い、県人会のおけさの会に入れてもらって踊り始めました。それから全国各地のおけさ踊りに参加し、10数年踊ってきました。（中略）

踊ることの他に、スキーを国内スキー場はもとより、スイスなど海外スキー場でも滑りを楽しんでいます。又、スキー連盟の会員として若い人にスキーの指導をしています。

（後略）

・参加者：総務委員10名を含む計10名。

（卓話の内容詳細は、会報に掲載予定）

財務委員会（12月定例）

・令和元年12月24日（火）

・午後2時～3時半

・議論・検討事項

一、会計の問題点

①11月収支状況の問題点

・会費納入状況の問題点

・広告収入の問題点

二、「11月5日財務委員会提言」の確認と正・副会長会よりの回答要求

①会報の年間発行回数を減らす件

②事務局体制の件

③諸イベント、延期の場合の対応の件

三、新会館完成後の収支等に関して

・財団への提示要求に対して回答なし。財務委員会より予測提出予定。

文化委員会（12月定例）

・令和元年12月12日（木）

午後2時～3時30分

一、「第21回作品展」について

・全体的な反省・検討を行い、改善点を洗いだし、収支の確認を行った。

二、「第33回文化講演会」について

・日時：令和2年2月22日（土）

・講師：蓮池 薫

・演題：「拉致問題の解決に向けて」

・会場：東京新潟県人会館（仮）

・会場定員を、より多くの皆様から参加いただけるように、50名から80名へ拡大。

広報委員会（12月定例）

・令和元年12月13日（金）

・午後5時～8時半

・会場を東天紅に設定。定例広報委員会後、広告部会との合同懇親会。

一、正・副会長会への財務委員会提言等の報告がなされた。

二、定例の「編集計画」の説明・確認

①1月号の進行状況

②2月号の進行予定

③3～5月号担当者確認

三、その他

・印刷部数の再検討

☆県人会・郷人会の動き

○東京三川会新年会
会長…安部　巽
日時…2月1日(土)　12時～
会場…東京ガーデンパレス
電話03-3813-6211

○立川新潟県人会創立80周年記念祝賀会
会長…大石　ふみお
日時…2月2日(日)　11時～
会場…パレスホテル立川
電話042-527-1111

○東京糸魚川会新年賀詞交換並びに祝賀新年会
会長…小林　保廣
日時…2月8日(土)　11時～15時
会場…ハイアットリージェンシー東京B1F「平安」
電話03-3348-1234

○越後獅子の会新年総会・新年会
会長…鈴木　忠夫
日時…2月9日(日)　11時30分～
会場…ベルセゾン5階宴会場「Fuji」
電話048-475-1122

○首都圏佐渡連合会総会・懇親会
会長…山本　顯男
日時…2月9日(日)　11時～
会場…ホテルメトロポリタン　エドモント本館2階「悠久」
電話03-3237-1111

○東京鹿瀬会総会・新年祝賀会
会長…坂田　純一
日時…2月9日(日)　12時30分～
会場…渋谷エクセルホテル東急6階「プラネッツ」
電話03-5457-0109

○葛飾区新潟県人会新年懇親会
会長…内田　晃
日時…2月23日(日)　12時30分～15時30分
会場…かつしかシンフォニーヒルズ別館5階レインボー
電話03-3693-3744

☆お詫びと訂正

1月号で下記の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

◎P4「小林会長　新年のご挨拶」
正　高鳥修元経企庁長官
誤　高取修元経企庁長官

新入会員のご紹介12月分（敬称略）

氏名	住所	出身地	紹介者
中町　厚	松戸市	十日町市	根津万寿夫
東京新商会　千代田区			及川　恒夫

クラブ活動スケジュール

ダンスクラブ（代表／佐藤永久）
2月3日（月）13：30～
2月24日（月・祝）13：30～
上野地区センター101号室
問合せ　03-3832-7619
事務局まで

おけさクラブ（代表／細谷シズ）
2月6日（木）13：30～
2月17日（月）13：30～
東京新潟県人会館仮事務所
問合せ　03-3832-7619
事務局まで

歌声クラブ（代表／柳　政直）
2月7日（金）13：30～
3月13日（金）13：30～
上野地区センター401号室
問合せ　090-3544-3768
柳まで

東京新潟県人会にご紹介ください。

本会運営組織の拡充と財政基盤の確立のために、個人会員と団体会員の
新規入会を募集しております。

共通特典　①会報誌『新潟縣人』毎月送付　②総会や各行事・活動のご案内

個人会員	5,000円	1．本部会員
	10,000円	2．理事会員・名誉会員
	30,000円	3．常務理事会員
団体会員	50,000円	1．県市町村
	10,000円	2．地区県人会・郷人会・職域・同窓会
	20,000円	3．企業及び事業経営者

◎上記は各区分けの年会費です。（毎年5月号に「払込取扱票」が差し込まれます。）
お支払い状況が不明な場合は、東京新潟県人会館の事務局までお問合せください。
※新規入会ご検討の方に、会報誌見本とご案内書・振込用紙をお送り致します。

東京新潟県人会　〒110-0005　東京都台東区上野1-15-10 大秀ビル2F　TEL：03-3832-7619
FAX：03-3832-7639　http://www.niigatakenjinkai.com

12月の県人会館の利用状況と地区県人会・郷人会の動き

1日	(日)	東京中之島会
3日	(火)	東京塩沢会
〃		正副会長会・常務理事会
4日	(水)	評議委員会
5日	(木)	おけさクラブ
〃		越後長岡ふるさと会
〃		アルペンワールドカップ2020にいがた（グランドプリンスホテル）
6日	(金)	組織委員会
〃		関係団体文化交流会・懇親会
7日	(土)	東京松代会
〃		新井高校同窓会東京支部
〃		東京村上市郷友会（庄屋　目黒408店）
8日	(日)	東京関原会
〃		しばた豊浦会
9日	(月)	東京松之山会
10日	(火)	「卓話の会」総務委員会
11日	(水)	新築定例会
12日	(木)	Jネットサロン（ふるさと上越ネットワーク）
〃		東京やまと会
〃		文化委員会
13日	(金)	広報委員会
14日	(土)	村松高校東京同窓会
〃		東京出雲崎会
15日	(日)	東京片貝会
〃		花實短歌会
19日	(木)	おけさクラブ
20日	(金)	東京富山県人会連合会（大手町サンケイプラザ）
21日	(土)	東京津南郷会
〃		東京鹿瀬会
23日	(月)	東京津川会
24日	(火)	葉月会
〃		財務委員会
〃		財団理事会

仮会館の貸会議室のご案内

室　名	平日料金（3時間）	土・日（3時間）	超過料金（1時間当たり）	定　員
A　会議室	8,090	8,900	2,160	60名
B　会議室	6,480	7,120	2,160	18名
B’会議室	6,480	7,120	2,160	24名
C　会議室	6,480	7,120	2,160	18名
D　会議室	3,240	3,550	1,080	6名
A＋B’会議室	14,570	16,020	4,320	84名

※会員のご利用は20%引きとなります。ビールほか飲み物、お料理も用意致します。

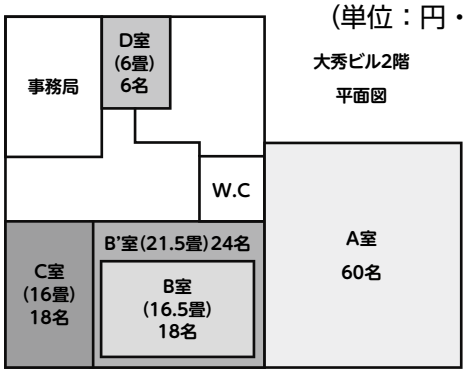
（単位：円・消費税込）

営業時間割

午前：10時～13時
午後：14時～17時
夜間：18時～20時30分（日曜は夜間の営業は致しません）
（休館日：水曜、祝日、年末年始ほか）

東京新潟県人会館

住所：台東区上野1-15-10　大秀ビル2F
Tel：**03-3832-7619**
Fax：**03-3832-7639**
E-mail：info@niigatakenjinkai.com



※B’室はA室使用時に通路確保のためB室となります。

2 イベント情報

Feb.2020.2.1 ▶▶▶ No.00260

表参道・新潟館 ネスパス イベント情報

イベント開催時間
10:30～18:00

雪の新潟 名品フェア

油揚げの名店が出店し栃尾油揚げや大豆製品を販売。熟成骨付きハム、海老しんじょう・煮玉子しんじょうなどの揚げたて蒲鉾も販売します。屋外では盆栽や鉢植えも。

日時:2月6日(木)～9日(日)　初日13:00から、最終日16:00まで

金銀山と花の島、佐渡 ～島おこしの力と新たな味発見～

伝統文化を受け継ぎながら、新たな商品も生まれている佐渡島。佐渡産「七味唐辛子」、漁師ならではの「サザエカレー」、濃厚な味わいの「麹のおちち」、神楽南蛮をオリーブオイルに漬けた「まんま・ペペロン」などを販売。[主催：新潟県佐渡地域振興局]

日時:2月10日(月)～11日(火・祝)　初日10:30から、最終日16:00まで

チューリップ・バレンタイン ～胎内市から愛をこめて～

胎内産チューリップの切り花や日本ワインコンクール連続受賞の「胎内高原ワイン」、「米粉かふぇ」や米粉のスイーツなど、バレンタインにぴったりのアイテムが勢ぞろい。購入の方にはチューリップの切り花をプレゼント。[主催：胎内市・胎内市観光協会]

日時:2月13日(木)～16日(日)　初日13:00から、最終日16:00まで

「白鳥が来るまち」あがの観光物産展フェア ～あれも、これも。いいものいろいろ～

日本で初めて野生の白鳥の餌付けに成功した阿賀野市。五頭山の麓で生産したお米、野菜、漬物や生乳等で作った和洋菓子など、人気の特産品をご紹介します。[主催：阿賀野市観光協会]

日時:2月21日(金)～23日(日)　初日13:00から、最終日16:00まで

きて！ みて！ たべて！ 阿賀町フェア

阿賀町の特産品や、郷土料理「たんぽ焼」をかわいらしくアレンジしてご紹介。特産「鬼ぐるみ」のたれや、町の糀屋さんが作る昔ながらのみそを使用した「たんぽ焼」（数量限定）をご賞味ください。[主催：阿賀町]

期間:2月27日(木)～3月1日(日)　初日13:00から、最終日16:00まで

※イベントの内容は一部変更になる場合もございます。ご了承ください。

(公社)新潟県観光協会　東京観光センター　ネスパス2F東京観光センター／TEL 03-5771-7755

・新潟へのご旅行のご相談・予約はネスパス2F 東京観光センターへ！
・経験豊富なスタッフが、新潟の楽しい旅をアドバイスします（東京観光センター限定旅行商品あり）。
・同窓会、クラス会、趣味の会の幹事さんへ
　グループ旅行を応援します。旅行プランを無料で作成！
・スキー＆スノボ宿泊／日帰りパックのほか、新潟＆長岡日帰りパックも好評発売中！

公益財団法人にいがた産業創造機構
表参道・新潟館 ネスパス
■TEL：03-5771-7711（代）　■FAX：03-5771-7712
■E-mail：nespace@nico.or.jp

●新潟県東京観光センター　03-5771-7755
10:30～18:30／休：年末年始

●にいがたUターン情報センター　03-5771-7713

●にいがた移住支援デスク・ココスムにいがた
03-3479-1415
10:30～18:30／休：火曜・祝日・年末年始

●食楽園　物　販　03-5775-4332
お食事処　03-5775-4322
（物販）　10:30～19:30／年中無休
（お食事処）＊昼　月～金 11:00～14:30（LO14:00）　土・日・祝 11:00～15:30（LO15:00）
＊夜　月～土 17:00～22:00（LO21:30）　日・祝　17:00～21:00（LO20:30）

●にいがたの味　静香庵　03-5771-8500／休：日曜・祝日・お盆・年末年始
＊昼　月～土 11:30～15:00（LO14:30）
＊夜　月～土 18:00～22:00（LO21:00）

■URL https://www.nico.or.jp/nespace/　ネスパス で検索！

アクセス

◇東京メトロ「表参道駅」A2出口 より
徒歩１分
◇JR山手線「原宿駅」表参道口より
徒歩10分

新潟　長岡　上越　燕三条　新発田　長野　東京
2018年4月、「新潟第一法律事務所」は
「一新総合法律事務所」に名称が新しくなりました。
弁護士法人
一新総合法律事務所
ISSHIN PARTNERS
新潟県弁護士会・長野県弁護士会・東京弁護士会 所属
旧名：新潟第一法律事務所
東京事務所
東京都千代田区大手町２丁目２番１号 新大手町ビル４階 中央グループ共同執務室内
Tel. (03) 3277-7077 Fax. (03) 3277-7078
お問い合わせ・ご相談のご予約は 0120-15-4640（イコー ゴムショ）

● 環境ダイイチ　あなたの為に!!
衛生害虫駆除請負
ゴキブリ、ダニ、南京虫、ネズミ
白アリ、樹木害虫、除草作業
株式会社 台一環境
社長 金子 秀五郎（燕市出身）
本社 東京都世田谷区代田6-6-9-1A ☎03(3468)4114代
e-mail：daiichi-kankyo@mx1.alpha-web.ne.jp

事業継承（親族、従業員、外部）・M&A・事業再生に関わるご相談、
何なりとどうぞ!!（初回無料です）
出身は、柏崎市です♪
新潟県人大歓迎！最優遇します！
104-0061
東京都中央区銀座1-15-8
銀座輝ビル3F
GK Ginza会計事務所
公認会計士・税理士 植木康彦
Tel 03-3562-2688
Fax 03-3562-2689
Eメール yuki@ginzakaikei.co.jp
ホームページ http://ginzakaikei.com/

JR御徒町駅南口昭和54年創業
へぎそば割烹 越後屋
製粉工場 新潟中央競馬場近く
代表取締役 長谷川 三男（豊栄出身）
東京都千代田区外神田6-15-11
日東ビルB１F 銀座線末広町駅徒歩１分
☎03-3836-3226・FAX03-3839-4310
東京事務所 上野1-2-12 デュオスカーラ上野 1003号室 ☎03-3834-1646

◉2月号広告目次

左記の企業の皆様には大変なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

二幸産業㈱……表2
㈱台一環境……29
一新総合法律事務所……29
へぎそば割烹「越後屋」……29
Ginza会計事務所……29
新潟日報……30
㈱加賀田組……30
八海山……30
お茶の水 ホテル ジュラク……30
第四銀行……30
東信用組合……30
㈱本間組……30
北越銀行……30
山本・清水国際特許商標事務所……30
㈱新潟放送……30
小野学園……33
髙野不動産㈱……表3
朝日酒造㈱……表3
ふるさと文化交流展……表3
㈱大庄……表4

編集後記

令和2年・2020年・2月・節分

二十四節気は、大寒節（1・20～2・2）から立春節（2・4～2・18）へ。令和2年の正月を迎えたばかりと思っているうちに、早や2月――。

2月3日は節分。大寒[節分]立春。節分とは、元来、二十四節気の季節の移り変わる立春、立夏、立秋、立冬の前日のことであったのが、今では立春前日だけになったのだとか。

暦の上では、もう春です。

私たちの東京新潟県人会では、1月25日の新年祝賀会を無事済ませ、2月に入り、4月新年度への取組が急ピッチで進行中。本誌編集室でも、いつもの如く、季節を先取りして、「桜」のカバー写真の選定作業なども既に進められています。

（広報委員長　樋口　高士）

新潟縣人
二〇二〇年二月号
定価三〇〇円（送料別）
発行　東京新潟県人会
編集　東京新潟県人会広報委員会
〒110-0005
東京都台東区上野一―十五―十
大秀ビル２F
電話〇三（三八三二）七六一九番
FAX〇三（三八三二）七六三九番
振替　〇〇一六〇（四）六二七二四
名義　東京新潟県人会
印刷　㈱第一印刷所東京本部
東京都台東区根岸二―十四―十八

——— やってくる時代に、何をつくろう ———

株式会社 加賀田組

本　　社　新潟市中央区万代４丁目５番15号
TEL ０２５-２４７-５１７１

代表取締役社長　市　村　　稿

東京支店　東京都新宿区中里町29番地３
TEL ０３-５２０６-５６６０

常務執行役員支店長　岩　川　祥　二

ふるさと新潟の将来を一緒に考えます

新潟日報

「新潟日報電子版」お申し込みはこちら

東京支社 / 東京都千代田区内幸町２丁目２番１号
日本プレスセンタービル２階　☎03-5510-5511

楽しさをクリエイトする
RESTAURANTS & HOTELS juraku

都心のまんなか。
ビジネスに観光に最適です

お茶の水ホテルジュラク

東京都千代田区神田淡路町２-９
ご予約はTEL03-3251-7222(代)
http://www.hotel-juraku.co.jp/ocha/
e-mail:ochanomizu@hotel-juraku.co.jp

＊＊＊＊＊＊＊聚楽グループ＊＊＊＊＊＊＊
水上ホテル聚楽　伊東ホテル聚楽
飯坂ホテル聚楽　万座ホテル聚楽
ジュラクステイ新潟
http://www.hotel-juraku.co.jp

HAKKAISAN
新潟の豊かな恵みに感謝し、発酵の知恵を大切に

八海醸造株式会社 新潟県南魚沼市長森1051
株式会社八海山 東京営業所 東京都中央区築地4-5-9

当組合は墨田新潟県人会の皆様が創立した組合です。会員の皆様のご愛顧をお願い申し上げます。

あづま
東 信用組合

本　　店　東京都墨田区吾妻橋１－５－３
TEL（3622）7151(代)

お客さまや地域とともに
“持続的な成長”を目指します。

第四銀行

東京支店　中央区日本橋室町１丁目６番５号　TEL 03(3270)4441
池袋支店　豊島区東池袋3丁目4番3号(NBF池袋イースト10階)　TEL 03(3981)8221
横浜支店　横浜市中区本町４丁目40番地(横浜第一ビル５階)　TEL 045(651)0361
大宮支店　さいたま市大宮区下町２丁目29番地　TEL 048(643)4141

北越銀行は“ありがとうをひろげよう”を合言葉に皆さまのくらしのお手伝いをさせていただきます。

北越銀行

本　　店　長岡市大手通2－2－14　☎0258(35)3111
東京支店　中央区日本橋小網町16－1　☎03(3660)5580
東京事務所　中央区日本橋小網町16－1　☎03(3660)1588
浦和支店　さいたま市浦和区針ヶ谷2－9－5　☎048(822)1566

HONMA
創ります。人と自然と文明の共存を。
株式会社 本間組

新潟本社　〒951-8650　新潟市中央区西湊町通三ノ町3300-3
TEL　025-229-2511(代表)
東京支店　〒101-0033　東京都千代田区神田岩本町4
TEL　03-3256-0921(代表)
ホームページアドレス　http://www.honmagumi.co.jp

東京にお住まいの皆様！
BSNラジオが聴けます♪
詳しくは radiko.jp を検索

株式会社 新潟放送
本　　社：新潟市中央区川岸町3－18
東京支社：東京都中央区銀座5－15－1 南海東京ビル

アイディア・ノウハウ・技術・デザイン・ビジネスモデルは
すべて知的財産

特許・商標の出願申請 調査・鑑定・契約
国際特許・海外商標の出願申請
顧問契約 知的財産の運用・管理

(南魚沼市出身)
企業の方も個人の方もご相談はお気軽にどうぞ

YAMAMOTO・SHIMIZU 山本・清水国際特許商標事務所
〒103-0004 東京都中央区東日本橋２丁目12番８号 平成ビル５階
TEL:03-5823-4680 FAX:03-5823-4725 Mail:tatsurou.y@pep.ne.jp
弁理士 山本 龍郎(特定侵害訴訟代理登録)　弁理士 山本 彰司

新潟ゆかりのお店

Number 32

カンティーナ シチリアーナ トゥット イル マーレ

歌舞伎座の右脇、木挽町通りを入って右へ曲がるとおしゃれなピンク色の4階建てのレストランがある。

お店の若きシェフは加茂市出身の小林淳さん（30歳）だ。大学生の時、レストランでアルバイトをした体験から、美味しい料理を創る人になりたいと専門学校を経てこの道へ進んだ。

「父は国語教師、母は家庭科教師だった影響も少しあるかな。故郷の思い出はたくさんある。お米が美味しかった。自分の食の原点になっていると思う」まっすぐ感謝の気持ちを表せる人だ。

上：シェフの小林淳さん　下：入り口

外観と開放感あるテラス席はイタリアを旅しているような雰囲気。

シックな店内はタイル、照明、小物、食器、絵画など、全てにこだわりがあって居心地の良さも感じられる。

1階はバールスタイル。カウンター席とハイテーブル席で、ワインを片手に料理をいただく、あるいは本場さながらにカジュアルに食事ができる。（14時以降は喫煙可）

2、3階はテーブル席に窓から柔らかな光が注ぐ。落ち着いた雰囲気で大事な人とゆっくりとした時間がすごせる。着席で30名までフロアを貸切り歓送迎会やプライベートパーティーなどにも使えるのでスタッフにご相談を。（禁煙）

2階　窓辺のテーブル席

料理はシチリアの伝統料理を中心に、常に新しいアイディアで皆様に喜んでいただきたいと、新鮮な食材で瑞々しく感性あふれる一皿一皿を創り出している。日本各地から産地直送で取り寄せる魚介類の料理がとても美味しいと評判。ワインも豊富だ。

赤海老の濃厚ソース自家製ブジアータ
（シチリア地方独自のパスタ）

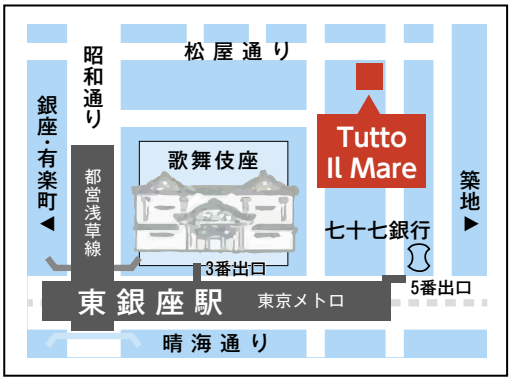
テリーヌと生ハムとサラミの
盛り合わせ

八海山サーモンと野菜の
マリネ（特別メニュー）

「シェフとして研鑽の日々ですが、たまには友人たちとスノーボードをたのしんだりもしています」と明るく話す。南イタリア、地中海。シチリアの恵まれた太陽と海と大地。そして新潟。この人の中ではすべてつながっていることなのだろう。次の一皿がたのしみになる素敵なお店だった。

（広報委員　清水　裕美子）

◎ご案内◎
住所：中央区銀座4-13-3
電話：03-6264-2171
HP：www.cantinasiciliana.jp
年中無休　日曜・祝日は深夜なし
ランチ：11:30～16:00
ディナー：17:30～26:00



＊東京メトロ「東銀座」駅より徒歩３～５分
CANTINA SICILIANA Tutto Il Mare

越後の奇祭めぐりの旅（越後浦佐毘沙門堂・裸押合大祭）

令和２年３月７日(土)～８日(日)　募集定員 45 名　締切日２月 20 日(木)

炎の奇祭＝国無形民俗文化財、「浦佐毘沙門堂裸押合大祭」の魅力は、その行事の多彩さと回数の多さです。およそ 15 分刻みで何かが行われています。

現地到着後は、**本堂で参拝**したあと直ぐに「餅まき」に参加します。お護摩の加持によって「福餅」となった紅白の餅が天から降ってきます。「撒くよ！まくよ！」「撒けまけマケヨ！」と宝蔵殿の屋根上からの撒与者とそれを見上げる参拝者の掛け声が場内に響きます。この福餅を授かると、一年間は「除災招福」のご利益に恵まれます。

夕食後は、いよいよ奇祭の始まりで、本堂へ入り**裸押合い**や**福物撒与**を見物します。裸押合衆の**水行**も必見です。堂内は「サンヨ、サンヨ」の声と熱気で溢れ、取巻く参拝者ももみくちゃ押合い状態です。

並行して境内では**弓張撒与**＝「**提灯撒き**」が行われます。弓張の数は限られているので、争奪戦となります。その争いを仲裁するのが大ローソクで、暗闇の中、炎が飛び交う様子は、夜戦の絵巻物を見るようです。手にしたホネを神棚や仏壇に供えれば、心願成就するとのことです。

大祭の締めは年男による「**ささらすり**」で、その年の豊作を祈願します。裸押合衆が年男を中心に三重四重の輪になり大ローソクも加わってサンヨ、サンヨと踊ります。足踏みの音、音頭取りの歌声にササラの音が共鳴し合い、大祭は頂点に達します。若者たちの満足感あふれる表情に感動を覚えます。

外気はかなり冷え込みますが、宿では熱い温泉が待っています。

旅行代金：お１人 **20,000円**（1 泊 3 食付き　4 名 1 室ご利用　1 人部屋追加料金 3,000 円）

宿 泊 先：浦佐温泉たもん荘

〒949-7302 南魚沼市浦佐 219-1　☎ 025-777-2363

日　程　３月７日(土)　池袋駅西口・東京芸術劇場前集合 8:30 ーたもん荘着 13:00

＜昼の部見学＞ 浦佐毘沙門堂と裸押合大祭―たもん荘にて夕食・懇親会

＜夜の部見学＞ 裸押合大祭―たもん荘泊

３月８日(日)　池田記念美術館―魚沼醸造㈱―八色の森こども雪祭り―あぐりぱーく八色―塩沢そば処「田畑屋」―池袋駅西口着 18:00 予定、解散

※本ツアーは定員満員により収益が出た場合、収益金を全額＜会館新設募金＞に寄付致します。皆様のご参加を心よりお待ち致しております。

浦佐毘沙門天祭り

東京十日町会 会長　春日　寛

ここ数年、東京やまと会会長の田中正芳さんに誘われて浦佐の毘沙門天祭りに参加し、仲間と共に新潟県人会の名入りの大ローソクを奉納させて頂いて来ている。冷水で水垢離をし、堂内で押し合いをする男達。汗がたぎり、それが体温でもうもうと立ち込め前が見えない程。

「今の若い者は」などという言葉はここには無い。いつも驚くのは、その組織力と統一性である。伝統の力とはこういうことなのかなと認識を改めさせてくれる。

こういう祭を存続させて来た浦佐が羨ましい。

撮影／山崎忠夫（東京やまと会）

申込先　東京やまと会事務局

※お電話でお申し込み下さい。☎ 03-5823-4680　FAX 03-5823-4725　担当：山本 彰司

※ご参加の皆様には後日、詳細とお申込書を郵送致します。※ご参加の方全員に福餅・御神酒を進呈致します。

新シリーズ・第18回

佐渡金銀山世界遺産早期登録　五度目のチャレンジ

佐渡金銀山に係った奉行たち④

※12月号第16回の続きです。

③　関東直轄領支配の代官頭

１５９０年、小田原城攻め後、関東に移封となった家康は、伊奈忠次、彦坂元正、長谷川長綱と共に長安に代官頭を命じ、彼らを関東直轄領支配の中核とした。長安は、甲斐（関東移封により徳川領でなくなった）への要衝であり、かつ、旧北条氏の重要拠点である八王子代官頭（総奉行）として、武田遺臣や北条遺臣の監視、交通交易拠点の整備、町割、検地、産業振興など、徳川創業期の地方支配に活躍し、１５９９年家康了承のもと、江戸時代末期まで続いた八王子千人同心を組織化しました。

大正 10 年甲府市街全図一部
「佐渡町」（個人提供）

④　石見銀山の支配

１６００年、関ヶ原の戦を経てのち幕府は石見大森銀山を豊臣（毛利氏）蔵入れ地から徳川直轄領に組み入れた。幕府は12月、代官頭彦坂元正と長安を石見銀山按検に派遣、翌年長安は初代石見銀山奉行となり、大久保間歩、釜屋間歩等を開発、銀の生産額を激増させ、その功績で１６０３年2月、外様ながら従五位下石見守に叙任、幕府奉行衆に加えられた。石見銀山の盛況は、山師の裁量で間歩を経営する請山から、間歩と山師を直接支配する直山に経営刷新したことによるが、同時に町割を行うなど、社会基盤整備も行った。また、地役人には、戦国時代からの石見出身者を中核に、甲州、武蔵、相模、駿河出身者などの鉱山技術巧者を集めて、甲州流採鉱などの技術吸収も目指しました。

⑤　甲斐代官

１６０１年2月再度徳川領となった甲斐の代官を平岩城代のもと命じられ、石見検地や黒川金山の掌握などに従事。１６０７年平岩城代の犬山城主転出により、大代官として名実ともに長安が甲斐を仕切りました。

甲府市にかつて「佐渡町」があった（現在は相生2丁目）が、この頃、長安が甲州金鋳造所をこの地に建て、佐渡から金工を移住させたことに由来するといわれます。

⑥　側近政治の一翼

長安の時代の役職職務は、家康が幕府官僚制の構築を試行錯誤した最中であり、家康を中心とした側近政治でした。家康が信頼・寵愛した人物の属人的能力、特質を最大限活用するもので、長安は、年寄（老中１６００年）や財政担当の所務奉行（後の勘定奉行）として家康の側近政治の一翼を担い、大和代官、石見銀山検分役、佐渡金山接収役、甲斐代官、石見奉行（従五位下石見守）、美濃代官、佐渡代官、松平忠輝（高田、川中島藩主）付家老、伊豆土肥・瓜生野・縄地各金山支配、名古屋城天守閣作事奉行などを命じられ、彼の権勢は天下の総代官といわれ、その支配地は一説には１２０万石と強大なものでした。

佐渡を世界遺産にする首都圏の会

伊藤　功

学校法人　小野学園
〒140-0015　東京都品川区西大井 1-6-13
TEL.03-3774-1151（代）
www.onogakuen.jp
小野学園女子中学・高等学校
小野学園小学校
小野学園幼稚園

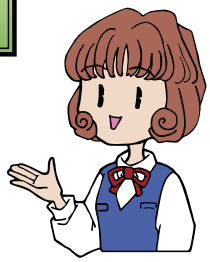
東京新潟県人会館建替え事業に伴うご寄付ご協力のお願い

東京新潟県人会館の建替え事業はその後工事も進み、令和２年10月の開館を目指しております。

会館建設はみんなの願いです。引き続き皆様方のご賛同を賜りご支援ご協力をお願い申し上げます。

東京新潟県人会館　理事長　　川村　敏夫
東京新潟県人会　会　長　　小林　保廣

会館新設寄付金状況報告



会館新設寄付金状況についてご報告します。（12月分　順不同・敬称略）

[会館新設寄付金一覧]

令和元年７月、皆様のご厚情により、寄付金が当面の目標額の１億円に達しました。しかし、皆様に愛される新会館建設のため、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

金　参十萬円

株式会社小川組

金　弐十萬円

株式会社関越開発　梨本　重城

金　十萬円

大竹　文一（一般）
田中　正芳（東京やまと会会長）
東京津南郷会
永見　富義（東京小国会）

金　五萬円

新潟県立長岡農業高等学校同窓会東京支部
三上　喜久治（東京寺泊会）

金　参萬円

首都圏みしま会

金　弐萬円

東京中野俣会

金　壱万円

加藤　正春（本部会員）
齋藤　辰義（本部会員）
平山　征夫（一般）
村山　富雄（理事）　**累計額 110,000**
山本　重一（東京津南郷会）
市村　浩二
中川　隆一
安沢　峰子

振込先：(一財)東京新潟県人会館　（郵便振替口座記号番号）00160-9-119246

当月号掲載者合計金額	1,130,000 円
12 月 31 日迄　合計金額	128,042,730 円

一般財団法人　東京新潟県人会館新築事業募金委員会
一般財団法人　東京新潟県人会館
東京新潟県人会

飲酒は二十歳になってから。おいしく適量を。

朝日酒造株式会社
新潟県長岡市朝日880－1
TEL.0258（92）3181

TAKANO GROUP 高野不動産株式会社

長岡（本社） 長岡市柏町1丁目4番33号
TEL.0258-33-7727㈹
新潟支店 新潟市中央区新和1丁目5番2号
TEL.025-285-2851㈹
東京支店 東京都千代田区霞が関3丁目2番5号
TEL.03-4334-8112㈹
home page:http://www.tknf.co.jp

第13回 ふるさと文化交流展

◎期　　間：2020年3月26日(木)～30日(月)
◎作品区分：書・絵画・写真（表彰式・打上パーティー 3月30日）
◎会　　場：表参道・新潟館ネスパス 3F

●出展募集要項●

・募集規定：作品及びサイズ体裁は以下の通り
　◇書軸・100cm×200cm ◇額・90×90cm
　◇絵画・最大30号まで　◇写真・全紙まで
・出 品 料：正 会 員 2点まで、1点に付1,000円
　一般会員 2点まで、1点に付3,000円
　追加の3点目からは全員一律1,500円
・審査表彰：審査により計18点を表彰致します
・応募受付：2020年2月29日(土) まで

◎搬入・搬出の要点◎
・搬　入：宅配搬入は3月24日に限定。
　持込搬入は3月25日に限定。午前迄。
・送り先：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-11-7
　表参道・新潟館ネスパス 気付
　ふるさと文化交流会 行
・搬　出：3月31日 作品引取は午前10:30～15:00
　宅配便による返送も受付致します

主催：ふるさと文化交流会　共催：にいがた産業創造機構
　　最高顧問：川村敏夫　　新潟館 ネスパス
　　会　　長：春日　寛

◎申込先◎ 事務局・大橋 淑宏
〒142-0053 東京都品川区中延3-4-8
Tel＆Fax 03-3787-7103
e-mail ohayoshiboo@yahoo.co.jp

新潟縣人　二月号（第七八六号）
令和二年一月三十一日印刷　令和二年二月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和三十二年一月十日第三種郵便物認可　第二甲第九号

東京新潟県人会　事務局／電話（03）3832―7619　FAX（03）3832―7639

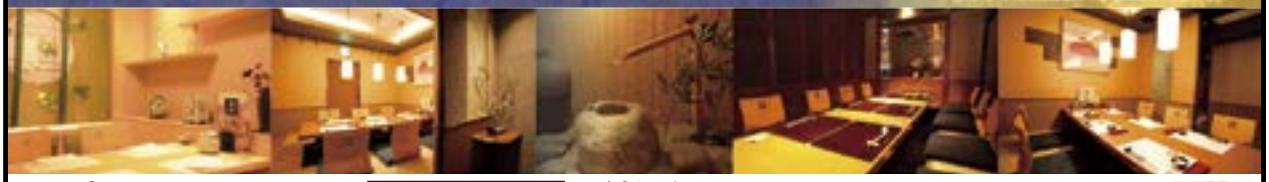
至福の海鮮で贅沢に　ご予約受付中！

ご用命ください。
冬の宴
プレミアム
美味しく親しみやすい和食をご家族や大切なお客様と。

例えば
日本海庄や
結コース
5,000円〈お料理7品 税込〉
お料理内容や営業時間外でのお集まりにつきましてもお気軽にご相談ください。

飲み放題付き

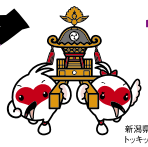
※写真の料理は4人前のイメージです。季節や仕入れ状況により、内容が異なる場合がございます。



庄や　日本海庄や　大庄水産　やるき茶屋
ご予約・お問合せ
受付時間：月～金
10：00～18：00
ご宴会をサポート
(株)大庄 法人営業推進室
フリーダイヤル 0120-489-023
ヨヤク　オニーサン
新潟県人会専任担当
加藤

スカイグリルブッフェ 武蔵

新潟フェア
1/9(木)～2/29(土)



新潟県宣伝課長 トッキッキ

新潟の味覚をライブクッキングで！

新潟県の様々な郷土料理を「武蔵流」の創作料理に仕立てました。
ライブクッキングによるコンチネンタルブッフェと共にお楽しみください。

お一人様料金 ＊（ ）内は小学生/幼児〈3～5歳未就学児〉の料金です　WEB予約可　ご予約はホームページからがオススメ!

時間		平日	土・日・祝
ランチ	1部 11:30～13:00	¥3,600(¥2,500/¥700)	¥4,200(¥2,900/¥800)
	2部 13:15～14:45	シニア[30%割引] ¥2,500	シニア[30%割引] ¥2,900
	3部 15:15～16:45		¥4,200(¥2,900/¥800) ▶¥3,600(¥2,500/¥700) シニア[30%割引] ¥2,500
ディナー	1部 17:30～19:30	¥4,800(¥3,300/¥900)	¥5,400(¥3,700/¥1,000)
	2部 19:45～21:45	シニア[30%割引] ¥3,300	シニア[30%割引] ¥3,700

シニア(75歳以上)は30%割引となります(9名様まで) ※ご利用人数(計)10名様以上の場合、シニアは大人料金となります。
※各料金はサービス料10%を含みます。別途消費税を頂戴いたします

※写真はイメージです。

ご予約・お問い合わせ〈武蔵予約専用〉
TEL.03-3842-6341(10:00～18:00)
当日のご予約はTEL.03-3842-3376(10:00～)
浅草ビューホテル
〒111-8765 東京都台東区西浅草3-17-1
https://www.viewhotels.co.jp/asakusa
浅草ビューホテルは 東京スカイツリー® フレンドシップホテルです。